

## Part 1 基本情報

## 1. スリランカプロフィール

(1) 正式名称	(和文) スリランカ民主社会主義共和国 (英文) Democratic Socialist Republic of Sri Lanka
(2) 政体	共和制
(3) 首都	スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ
(4) 面積	65,607km <sup>2</sup> (北海道の約0.8倍)
(5) 人口	約2,001万人(2007年央推定)
(6) 民族	シンハラ人(72.9%)、タミル人(18.0%)、スリランカ・ムーア人(8.0%)(一部地域を除く値)
(7) 言語	公用語(シンハラ語、タミル語)、連結語(英語)
(8) 宗教	仏教徒(70.0%)、ヒンドゥ教徒(10.0%)、イスラム教徒(8.5%)、ローマン・カトリック教徒(11.3%)(一部地域を除く値)
(9) 略史	紀元前483年 ヴィジャヤ王子(シンハラ族の祖といわれる)スリランカ上陸シンハラ王朝建設 " 250年 仏教伝来 紀元1505年 ポルトガル人来航(海岸地帯を植民地化) 1658年 オランダ人来航(海岸地帯を植民地化) 1802年 アミアン条約によりスリランカは英国植民地となる 1815年 キャンディー王朝が滅亡し、全島が英国の植民地化 1948年 英連邦内の自治領として独立 1956年 バンダラナイケ首相就任。シンハラ語のみを公用語とする公用語法成立 1972年 国名をスリランカ共和国に改称(英連邦内自治領セイロンから完全独立) 1978年2月 ジャヤワルダナ大統領就任(実権のある大統領制の発足) 1978年9月 国名をスリランカ民主社会主義共和国に改称 1983年7月 大騒擾事件 1987年7月 スリランカ、インド和平合意成立、インド平和維持軍(IPKF)がスリランカへ進駐 1987年11月 憲法改正(シンハラ語及びタミル語を公用語と規定、州評議会制度を導入) 1989年1月 プレマダーサ大統領就任 1990年3月 IPKF完全撤退 1993年5月 プレマダーサ大統領暗殺、ウィジェートゥンガ大統領就任 1994年11月 大統領選挙、クマーラトゥンガ大統領就任 1999年12月 大統領選挙、クマーラトゥンガ大統領再選 2001年12月 総選挙で野党統一国民党(UNP)が大勝、ウィクラマシンハ首相就任 2002年2月 政府とLTTEとの停戦合意成立 2002年9月 政府とLTTEとの和平交渉開始 2003年4月 LTTEによる和平交渉の一時中断の表明 2003年6月 スリランカ復興開発に関する東京会議 2004年4月 総選挙で野党統一人民自由連合(UPFA)が勝利、ラージャパクサ首相就任

	2004年12月	スマトラ沖大地震及びインド洋津波により、スリランカ北西部を除く全ての沿岸が被災し、3万人以上が犠牲。
	2005年8月	ガディルガマール外務大臣暗殺事件
	2005年11月	ラージャパクサ大統領就任
	2006年2月	政府とLTTEとの「停戦合意の実施に関する直接協議」
	2006年7月	東部水門閉鎖問題を契機に戦闘激化
	2006年10月	政府・LTTEによる直接協議
	2007年7月	政府、東部をLTTEより解放
	2008年1月	停戦合意失効
(10)在留日本人	795人(2008年12月現在、在「ス」日本大使館調査)	
(11)気候	該当情報なし。	

【参考】

「外務省ホームページ-各国・地域情勢」外務省

## 2. 業務のための基礎データ

### (1) JICA事務所の概要(スリランカ事務所)

住所 : Level 13, DHPL Building, #42, Navam Mawatha, Colombo 02, Sri Lanka

郵便物宛先 : P.O.Box No.2068, Colombo, SRI LANKA

連絡先 : 国番号 : 94

市外局番 : 11

電話 : (94-11) 2303700

FAX : (94-11) 2303692

時間外・休日などの緊急連絡先: 該当情報なし。

URL : <http://www.jica.go.jp/srilanka/index.html>E-mail : [jicasl@jica.go.jp](mailto:jicasl@jica.go.jp)

勤務時間 : 8:30 ~ 17:00 (休憩時間 12:30 ~ 13:30)

休日 : 下記祝日及び土曜日、日曜日

1月 1日 ~ 2日	New Year Holiday
1月14日	Tamil Thai Pongal Day
2月 4日	National Day
2月 9日	Navam Full Moon Poya Day
3月10日	Medin Full Moon Poya Day
4月 9日	Buk Full Moon Poya Day
4月10日	Good Friday
4月13日	Day Prior to Sinhala & Tamil New Year Day
4月14日	Sinhala & Tamil New Year Day
5月 1日	May Day
5月 8日	Wesak Full Moon Poya Day
7月 6日	Esala Full Moon Poya Day
8月 5日	Nikini Full Moon Poya Day

9月 4日	Binara Full Moon Poya Day
11月 2日	IL Full Moon Poya Day
12月 1日	Unduvap Full Moon Poya Day
12月25日	Christmas Day
12月30日	End of Year Holiday
12月31日	End of Year Holiday

(2009年)

事務所までの交通：

【空港から】

空港からコロombo市内までの所要時間は約45分～1時間。空港内からはタクシーが出ており、料金はRs.2000程度。乗車する際、JICA事務所の住所を教えればよい。

【空港以外から】

コロombo市内ならば、タクシーかスリーウィリーでRs.200～Rs.500程度。

## (2) JICA事務所周辺地図

旧JICA事務所周辺地図。今後、DHPL Buildingに旧JICA業務、旧JBIC業務とも統合予定(2009年4月見込)



(3) 日本との時差  
サマータイム

日本との時差：-3時間半  
サマータイム：なし。

(4) 祝日、  
官公庁の休日

祝日：「(1)休日」参照  
官公庁の休日：

1月 10日

Duruthu Full Moon Poya Day

1月 14日	Tamil Thai Pongal Day
2月 4日	National Day
2月 9日	Navam Full Moon Poya Day
2月23日	Maha Sivarathri Day
3月10日	Medin Full Moon Poya Day
4月 9日	Buk Full Moon Poya Day
4月10日	Good Friday
4月13日	Day Prior to Sinhala & Tamil New Year Day
4月14日	Sinhala & Tamil New Year Day
5月 1日	May Day
5月 8日	Wesak Full Moon Poya Day
5月 9日	Day following Wesak Full Moon Poya Day
7月 6日	Esala Full Moon Poya Day
8月 5日	Nikini Full Moon Poya Day
9月 4日	Binara Full Moon Poya Day
9月21日	Id-UI-Fitr (Ramazan Festival Day)
11月 2日	IL Full Moon Poya Day
12月 1日	Unduvap Full Moon Poya Day
12月25日	Christmas Day
12月31日	Duruthu Full Moon Poya Day
(2009年)	

- (5) ビジネスアワー 官庁 : 8:30~17:00  
銀行 : (月~金) 9:00~14:00  
商店 : (月~土) 8:00~18:00  
大型スーパーは21:00頃まで空いている。
- (6) 言語 業務 : 一般的に英語が通じる。  
ホテル、買い物、食事 : 市街では一般的に英語が通じる。郊外では現地語が主。
- (7) 通貨 現地通貨単位 : ルピー
- (8) 通貨レート 1ルピー = 約0.86円(2008年末値)
- (9) 関係機関 【在外日本関係機関】  
・在スリランカ日本大使館  
住所 : No. 20, Gregory's Road, Colombo 07, Democratic Socialist Republic of Sri Lanka  
(P.O. Box 822 Colombo)  
電話 : (94-11)2693831 ~ 3  
FAX : (94-11)2698629

- (10) 有用サイト
- 外務省「各国・地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
  - 外務省「渡航関連情報」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>
  - 現地報道機関 新聞「Daily News」 <http://www.dailynews.lk/>
  - 「Daily Mirror」 <http://www.dailymirror.lk/>
  - 「The Island」 <http://www.island.lk/>
  - 国家安全メディアセンター <http://www.nationalsecurity.lk/>

## Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所があるコロンボの情報を中心に掲載しています。

## 1. ホテル、住宅



## 1-1 ホテル

コロンボの高級ホテルは1泊US80～150ドル程度から選択が可能で、ホテルによっては、さらに10%のサービス料、15%の付加価値税(VAT)、1%の観光開発税が課されることがある。1ヶ月以上宿泊予定の場合は、割引が適用されることもあるため、予めホテルと交渉する必要がある。

以下、主なホテルの料金(2008年12月現在)。時期や経済情勢等によって、料金に変更となる可能性があるため、注意が必要。

注意 : クレジットカード標記

A=American Express、D=Diners、J=JCB、M=Master、V=VISA

## &lt;5つ星ホテル&gt;

・Cinnamon Grand Hotel (旧 The Colombo Plaza Hotel)

所在地 : 77, Galle Road, Colombo 1

電話 : 2421171

FAX : 2449280

料金 : シングル150米ドル、ダブル170米ドル

(サービス料10%、付加価値税15%)

使用できるクレジットカード : A、D、J、M、V

・Galle Face Hotel

所在地 : 2, Galle Road, Colombo 3

電話 : 2541010 ~ 6/ 2543565 ~ 77

FAX : 2681246

料金 : シングル、ダブル125～180米ドル (税・サービス料込み)

使用できるクレジットカード : A、D、M、V

・Trans Asia Hotel

所在地 : 115, Sir Chittampalam A. Gardiner Mawatha, Colombo 2

電話 : 2544299

FAX : 2449184

料金 : シングル85米ドル、ダブル100米ドル

(サービス料10%、付加価値税15%)

使用できるクレジットカード : A、M、V

## &lt;3～4つ星ホテル&gt;

・Holiday Inn

所在地 : 30, Sir Mohamed Macan Markar Mawatha, Colombo 3

電話 : 2422001 ~ 9

FAX :2447977

料 金 :シングル75米ドル、ダブル81米ドル(税・サービス料込み)

使用できるクレジットカード :A、D、J、M、V

・Renuka Hotel

所在地 :328, Galle Road, Colombo 3

電 話 :2573598

FAX :2547137

料 金 :シングル42米ドル、ダブル45米ドル

(サービス料10%、付加価値税15%)

使用できるクレジットカード :A、J、M、V

・Grand Oriental Hotel

所在地 :2, York St.reet, Colombo 1

電 話 :2320391 ~ 3, 2448734

FAX :2447640

料 金 :シングル60米ドル、ダブル70米ドル(税・サービス料込み)

使用できるクレジットカード :A、J、M、V

## 1-2 住宅事情

コロボ市内には、マンション・タイプ、一戸建て住宅、ホテルとの年間契約などがある。

### < マンション・タイプ >

この形態の住宅は、自家発電設備の設置・運転及び警備員の備上等をマンション側が一切管理するため、その煩わしさから解放されること、一戸建て住宅に比べ比較的 안전対策がしっかりしていることなどから、近年この形態の住宅に入居する JICA関係者が増加している。

### < 一戸建て住宅 >

計画停電の実施に伴い、自家発電設備の設置が必要であること等から近年一戸建て住宅からマンション・タイプの住宅に移動する人が増えている。家具なしの物件も多い(但し家具付きにしてもらえるかどうかは大家との交渉次第)。部屋数、庭の広さ、周囲の環境の良否等は比較的多くの外国人が居住する地域内だけでも様々あり。

### < ホテル >

単身者や独立家屋の管理の煩わしさ、水道、電気、空調等の不完全さを全面的に回避したい場合は、ホテル滞在という方法がある。Galadari,Hilton,Taj等の高級ホテルで、部屋数には限りがあるようだが、長期滞在用に炊事施設を備えた部屋もある。

## 1-3 住宅の探し方

物件を探すには、エージェント、新聞・口コミなどのほか、マンション、ホテルと直

接、長期契約する方法などがある。

#### < エージェントへの依頼 >

エージェントの数は比較的多く、概ね対応も悪くないが、信頼のおけるエージェントを仲介することが大切である。紹介料は、契約成立後、大家(OWNER)が1ヶ月分の家賃を手数料(紹介料)としてエージェントに支払うのが慣例である。エージェントによっては、手数料を要求する場合もあるため、十分注意が必要。

#### < 新聞・口コミ等を利用し自分で探す >

新聞(日曜版 SUNDAY OBSERVER)の広告欄に掲載された物件を好みに合わせて選択し、1件ずつ(間取り、設備、連絡先等詳しく紹介されているので)マメに探せば、優良物件も見つかる。ただ、大家の中には、契約書を用意していない、不動産業者の仲介を何らかの理由(紹介料を払いたくない、不動産業者を嫌う等)で拒む大家もいるため、契約者は誰なのか、入居後の家屋の管理責任者は誰なのか、直接確認をする必要がある。往々にして、大家は外国に居住し、管理は知り合い等に依頼し、小さな修理等であってもすぐには対応してくれないケース等が出てくる可能性がある。

#### < マンションとの長期滞在契約 >

コロンボ市内には、いわゆるマンション・タイプの物件が増えつつある。これらの賃貸契約には2通りあり、1つは物件管理者(会社等)との直接契約、もう一つはそのフロアあるいはアパートを購入した大家と直接契約をする場合。後者においては、家賃は大家、管理費は会社等へと対応が様々なため、契約前にこれらの詳細を確認しておく必要がある。

#### < ホテルとの年間契約 >

各ホテル共、年間契約は可能であるが、料金には若干の差異がある。ルームサービス込みであるため、单身者には便利。

### 1-4 住宅選定上の留意点

実際、住居探しを開始するとすぐに気付くことであるが、すべての要求・好みを満たすことは不可能である。しかし、この国での習慣では、長期間の契約(通常1年以上)・家賃前払い(1年間分家賃)が必要であり、決められた住居に不都合があっても現実には他の住居に移ることは、まず不可能である。したがって、慎重な住居探しが必要となる。特にコロンボの場合、一括払いが多いため、住居契約書に解約条項を含めることが必須である。契約を途中解約する場合は、それに則って行う必要がある。

また、コロンボ市での住居探しの基本心得として、まずは安全対策を優先し、最低限次の点について配慮することが必要である。不足部分は大家との交渉で設置・修理させるか、自分で対応する等、妥協する必要もある。修理に関しては、通常住居契約書の中に入居者と大家の負担の割合を定めた条項がある。

## 1-5 住宅の契約

### < 安全対策 >

たとえ近所に危険の高い施設、住居がなくても、通勤時その近くを通過することがあるのであれば、危険性は同じように高まる。複数の通勤、通学の道が選べれば理想的。

- ・外壁は十分な高さがあり、忍び返し等の防御がなされているか？
- ・寝室等の主要な部屋の窓には防犯格子等が設置されているか？
- ・周囲に不釣り合いな住居(スラム等)はないか？
- ・周囲にテロのターゲットとなるような軍、警察、閣僚、及び国際機関等の施設・住居はないか？

(特に背中合わせになっている土地が見落とされやすく、危険が高い。)

- ・使用人(女中、警備員等)の動線と入居者の動線と交差しない住居構造か？

(警備員、運転手が家屋の中を横切らないと用を足せない、女中が玄関から出入りする。等)

### < 浸水・雨漏り対策 >

- ・近辺の道路、住宅と比較して、低地に位置していないか？
- ・近辺に運河等の洪水の原因となりやすいものはないか？
- ・採光用吹き抜けには風雨除けが施されているか？
- ・天井等に雨漏りの形跡はないか？

### < 騒音・渋滞 >

- ・近辺に騒音を出す宗教関係等の施設はないか？
- ・近辺に登下校時に道路渋滞の原因となる学校はないか？

## 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

マンション、一戸建て住宅の場合、水道・電気・ガスは基本的に日本同様メーター式で毎月管理業者から請求書が届く。入居時に最初の目盛を管理者とともに確認すると良い。一軒家の場合、ガスはシリンダー(Rs/リットル)を自分で民間の業者(例: Flower Road沿いのガソリンスタンド内)から購入して使用する。水道は基本的に日本と同様にメーター式で毎月請求書が届く。

## 1-7 家電

### (1) 電圧

電圧は240V、周波数は50Hz。日本から電化製品を持っていく場合は、変圧器とアダプターが必要。パソコンは通常100V～240Vに対応可能。持参する電化製品のプラグに書かれている仕様をよく確認するとよい。

### (2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントの型は主に3穴型である。日本のものとは形状が異なるので、日本製品を持ち込んで使用する場合はアダプターが必要(現地でもRs.80前後で購入可能)。プラグタイプはB3(丸型3ピン)またはBF(角型3ピン)であり、両方そろえて携帯する

のが無難。

モジュラージャックは、日本で使用しているタイプと同じRJ45。

### (3)家電製品

コロボ市内の家電販売店(Abansなど)やショッピングセンター(ARPICO等)に入っている小売店で、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、ビデオ、エアコン、AV製品、炊飯器など、大体のものは購入可能。ただし、大抵の場合は、日本で市販されているモデルよりも古い形式のものが多いようである。

## 1-8 家具保険

該当情報なし。

## 1-9 その他

該当情報なし。

## 2. 衣料、理容



### 2-1 衣料全般

#### (1)一般事情

暑い国のため日常は夏服で足りる。ただし、ホテル、レストランなど、冷房が効きすぎていることがあり、長袖のシャツ、ブラウス、カーディガンなどは必携である(当地でも長袖のシャツ、ブラウスなど購入可能)。また、避暑地のヌワラエリアなど高地では、夜には暖房が必要なほど寒くなり、カーディガン、セーター程度の冬物は必要であるが、当地でも調達可能。冬季の帰国、第三国への出張や旅行を考え、冬服1着分は持参するとよい。

#### (2)日本から持参したほうがよい衣料

##### <男性用>

正式のパーティーでは上着着用であり、スーツ(夏用)が必要である。ワイシャツは当地でも入手可能。普段着のシャツについてはよいものが安く入手できる。下着、靴下などは傷みが激しいことを考慮に入れ、多く持参することを勧める。布地は、自宅で洗えるテトロンなどの合成繊維が望ましい。

##### <女性用>

パーティーの機会が多いため、ドレスはフォーマルおよび、ややフォーマルなもの、各々1着以上を持参するとよい。普段着についても、ほとんどの邦人が日本より持参しているが、最近はかなり良質なものが出回るようになってきている。また、普段着に適した生地があり、安く仕立てることもできる。ただし下着類は、サイズ、仕立ての問題から持参することを勧める。

靴はサンダル型が快適である。材質や流行を問わなければ当地でも入手できる。ストッキングはあまりはない。

##### <子供用>

普段着および下着類は当地でも入手できるが、布地、仕立てなど洗濯に耐えるも

のが少ない。運動靴は質を問わなければスニーカーを含めて入手可能である。

### (3) 現地で調達したほうがよい衣料

普段着は、男性用、女性用、子供用ともODELあるいはCotton Collectionで揃う。

#### ・ODEL

所在地 : 5 Alexandra Place, Lipton Circus (de Soysa Circus)

備考 : ほかに支店がMajestic City、Liberty Plazaにある。

#### ・Cotton Collection

所在地 : 40 Sir Ernest de Silva Mawatha

備考 : 別名 Flower Road。「Arjuna's A-Z Street Guide」ではErnest de Silva Mawatha、ただし索引にはEarnest de Silva Mawatha、ほかに支店がMajestic City、Liberty Plaza にある。

#### ・Barefoot

所在地 : 704 Galle Road, Colombo 3

電話 : 589305

女性は民族衣装であるサリーを購入するのもよい。パーティーなどで着用すると当地の人にも喜ばれる。サリーは、サリーブラウス、アンダースカートをあわせて着用し、華やかなアクセサリーをつける。Majestic CityやLiberty Plazaで購入できる。

### (4) その他の留意点

服装で人物を判断する習慣があり、時と場所をふまえて服装を選択することが肝要である。

通常、野外でのパーティーはカジュアルな服装で出席する。蚊や蟻などに刺されることもあるので、靴下、靴、長ズボン、長袖シャツ着用がよい。

## 2-2 礼装

### (1) パーティー

通常、パーティーの招待状には服装が指定されている。下記は当国外務省より聴取したものであり、いちおうの目安とされたい。

#### ・National / Lounge

正装(国家的行事、正式晩さん会など)

#### ・Informal

上着およびネクタイの着用

#### ・Optional

本人の自由

#### ・Casual / Smart Casual

普段着とは違うが、リラックスした服装。通常はパンツにカラーのあるシャツを着用することが多い。

### (2) 式典

パーティーに準ずる。

### (3)冠婚葬祭

和服は必ずしも持参する必要はないが、特別なパーティー、結婚式などに着用すると喜ばれる。ただし、当地では帯などのクリーニングはできない。

喪服は、仏教徒は白い服と決まっている。宗教によって異なるため、その都度確かめるとよい。

### (4)その他の留意点

該当情報なし。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

### (1)洗濯

ドライクリーニング店は市内外に多くある。技術レベルはさまざまなので、評判を確かめてから依頼するとよい。背広などのドライクリーニングは一流ホテルに依頼する。ただし、あくまでも宿泊客用のサービスなので料金は割高である。洗濯機やアイロンは当地でも比較的安価で購入できる。水質状態も改善されており、自宅での洗濯も可能。主要なドライクリーニング店は以下のとおり。

#### ・Crescent Cleaners

所在地 : 43, Braybrooke Street, Colombo 2

電話 : 230-7609

#### ・Creases & Pleats

所在地 : G1, Food Court, Crescat Boulevard Colombo 2

電話 : 552-1230

### (2)仕立て、修繕

木綿や絹のバティックがあり、仕立てを頼むことができる。夜の装いとして楽しむでもよい。なお、スタイルブックや型紙を持参すると発注の際便利である。

### (3)保管

湿気や虫、ネズミに気をつけること。特に皮製品などの保管には注意が必要である。密閉できる袋(日本から持参)に防虫剤(当地でも入手可能)と除湿剤(日本から持参)を入れて保管するとよい。

## 2-4 美容院、理髪店

一流ホテルには美容室がある。ホテル以外の美容室は下記のとおりである。

#### ・Ramani Fernando's Saloon

所在地 : 32 Elibank Road, Colombo 3

電話 : 582176

#### ・Jane Hair

所在地 : 24, 1/1 Eli Bank Road, Colombo 5

電話 : 259-6701

邦人はホテルの理髪店を利用している。ローカルの理髪店はRs.200前後と安価だが、腕はあまり良くない。子供の散髪用にはハサミ、クシ、小型バリカン(スキカ

ル)などを持参すると便利である。

その他の美容・理髪用品なども、日常使用しているものを持参するとよい。

### 3. チップ



#### 3-1 チップ事情

##### (1) 習慣の有無

チップを渡す習慣は薄れつつあるが、ホテルのボーイやルームサービス、部屋の清掃(枕銭)などは通常現在でも心づけとしてチップを渡している。

##### (2) 各種サービスに対するチップ

ほとんどのホテルやレストランではサービス料10%が含まれているため、不要である。含まれていない場合は、料金の10%程度、また、ポーター等にはRs.20～50、部屋の清掃(枕銭)はRs.100程度が適当。

### 4. 食生活



#### 4-1 外食

##### (1) 一般事情

スリランカのレストランはバリエーションが比較的豊富である。伝統的なスリランカ料理から、イタリア料理、フランス料理、中華料理、韓国料理、日本料理の店などがある。ローカルのスリランカ料理店ならば、カレーが一食Rs.200前後、イタリア料理や日本料理などはRs.1000前後支払えば日本のレストランと変わらない味が楽しめる。ファーストフード店では、マクドナルド、ケンタッキーフライドチキン、ピザハットもあり、値段も日本に比べて安い。

パブやバーもあり、ビールやアラックと呼ばれるココナッツのウィスキーを楽しむことができる。

##### (2) 飲食店

主なレストランはイエローページを参照。

#### 4-2 食料

##### (1) 一般事情

農業国であるため、野菜はもちろんのこと、魚・肉類とも種類は比較的豊富であり、基本的な食料品の入手には問題がない。

##### (2) 主な食品の出回り状況

###### < 野菜 >

国内で収穫された、ジャガイモ、タマネギ、トマト、ニンジン、セロリ、サラダ菜など、安価で入手できる。ピーマンなど輸入作物は日本と同程度の価格である。品質や保存状態はあまりよくないことが多いが、味は問題ない。

###### < 魚介類 >

島国であるため、漁業も盛んで近隣の漁港から運ばれてきた鮮魚をスーパーやマーケットで購入することができる。冷凍品は少ない。

**< 果物 >**

種類は少ないが、国産の味の良いバナナ、パパイヤ、マンゴーなど、一年を通じて安価で楽しむことが出来る。輸入果物としてリンゴやキウイも手に入る。

**< 米 >**

現地米のほか、中国産など輸入米も手に入る。

**< その他 >**

紅茶の名産国でもあり、様々な種類のお茶を安価で入手できる。他方、コーヒーはインスタントコーヒーが主で値段も高い。

**(3) 食料の入手**

スーパーマーケットチェーンが数多く展開しており、品揃えも良く、基本的な食料は手に入れることが出来る。屋台や週末に開かれる市場では、安価で野菜や果物を購入することが出来る。また、日本食品や調味料は、数は少ないが輸入品を扱っている商店があり、醤油や麺類など入手が可能である。

主なスーパーマーケットはイエローページを参照。

**4-3 食器、調理器具****(1) 食器、調理器具などの入手**

たいていの調理器具や電化製品は用意に購入可能である。国内産が多く、質はあまり良くない。輸入品も数は少ないが購入できる。

**(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具**

現地で入手できる器具は質があまり良くなく、和食器も入手が困難なため、包丁や日本独特の食器、はしなどは持参したほうが良い。

**5. 生活用品の購入****5-1 家電製品****< 一般事情 >**

この国の電圧は240Vであり、世界中のメーカー品が手に入る。特に韓国製、中国製が多い。日本のメーカー製も種類は少ないが入手可能であり、日本国外生産品は比較的安く、日本国内で生産されたものは非常に高い。日本ほどの種類は無いが必要なものは日本とほぼ同じかやや高い程度の値段で手に入る。ソケットプラグは丸型3ピンか角型3ピンタイプがほとんどであり、変換アダプターは現地でRs.80程度で購入可能。

**< 日本から家電製品を持参する場合 >**

日本で使用中もしくは購入した100V仕様のもので持参したい場合はそのワット数に応じたステップダウントランスフォーマー(変圧器)が必要になる(240V 100V)。この変圧器の入手は現地では難しく、日本で購入してもW数の高いものは重く高価なため、240Vの輸出用製品を持参するか現地購入が勧められる。特にモーターを使用したものや電熱線を使用するものは、現地で購入したほうがよい。またACアダプターを使用している製品は240V対応のものを選ぶ。

## &lt; 任国で調達した方がよい電化製品 &gt;

エアコン、洗濯機、電子レンジ、オーブン、アイロン、炊飯器、ホットクッキングプレート、冷蔵庫、テレビ、オーディオ製品等の大型、電熱線やモーターを使用したワット数の大きな製品は特に現地で購入したほうがよい。ほとんど全てのもが購入可能。

## &lt; その他の留意点 &gt;

メーカーによっては初期故障や不良品が多いので無料修理交換保証期間が1年以上付いているかを確認して購入する。停電や電圧不安定、雷被害も多いので、製品によってはサージプロテクターや電圧安定装置を購入設置したほうがよい。現地で購入可能。

## &lt; 取扱店 &gt;

・ABANS : 498 Galle Road, Colombo 3, TEL- 2565265

備考 : ほかに支店がMajestic City, Liberty Plaza他全国各地にある。

・SINGER : 38 Thurstan Road. Colombo 3, TEL- 2375643

備考 : ほかに支店がMajestic City, Liberty Plaza他全国各地にある。

・Brown & Company Ltd. (SHARP製品取扱) :

481 T.B.Jayah Mawatha, Colombo 10, TEL : 2697111

・UNI-WALKERS LIMITED (Panasonic製品取扱) :

402 Galle Road, Colombo 3, TEL : 2575619

・ARPICO : 69 Hyde Park Corner, Colombo 2, TEL : 2687305

・SINGHAGIRI LIMITED :

Samsung Plaza, # 515, T.B. Jaya Mawatha, Colombo 10,

TEL : 011-4736650

・HAYLEYS CONSUMER PRODUCTS LIMITED :

25, Foster Lane, Colombo 10, TEL : 011-2688965

・ESWARAN (PVT) LIMITED :

Eswaran Brothers Building, No. 267, Sea Street, Colombo 11,

TEL : 011-2432599

・MANGALA TRADE CENTRE :

No. 413, Galle Road, Colombo 6, TEL : 011-2587810

・ASSURED PERFORMANCE :

No. 389, Havelock Road, Colombo 6, TEL : 011-2596624

**5-2 家具**

## &lt; 一般事情 &gt;

木製家具は、現地生産のものが多く、作りは日本のものに比べると少々荒いが充分使用に耐える。木材以外の家具も現地生産品以外に輸入品も種類も多い。賃貸住宅に住む場合、基本的な家具については備え付きが多く、大家の好みに左右される。自分の好みの家具をそろえて居住する家の場合、退去するときの処分方法も事前に想定して購入する。価格は日本と変わらない。

## &lt; 取扱店 &gt;

- ・ARPICO :69 Hyde Park Corner, Colombo 2, TEL :2687305
- ・DAMRO :746 Galle Road, Colombo 4, TEL- 2553838
- ・MODERN HOMES :445 Galle Road, Colombo 3, TEL :4510405
- ・SUYAMAS INTERNATIONAL (PVT) LIMITED :  
No. 388, Galle Road, Colombo 3, TEL :011-4714930
- ・MEUBEL HOUSE :  
No. 08, Daisy Villa Avenue, Colombo 4, TEL :011-2586770
- ・LINK INTERIORS INTERNATIONAL (PVT) LIMITED :  
No. 03, Flower Road, Colombo 7, TEL :011-4505555
- ・LEEMA CREATIONS (PVT) LIMITED :  
No. 26, Deal Place "A", Colombo 3.
- ・ALLIANCE LIVING :  
No. 146, Havelock Road, Colombo 5, TEL :011-2506067
- ・LEONARDS FURNITURE :  
No. 17, Main Street, Battaramulla, TEL :011-4413657

**5-3 日用品、雑貨**

## &lt; 一般事情 &gt;

ほとんど全ての必要なものは揃う。但し、日本製のような品質は望めないものが多い。日本製も高価だが輸入され販売されている。洗剤、シャンプー、石鹸なども種類は多く、西ヨーロッパやアメリカのメーカーの製品も手に入るが、日本のように肌にやさしいものは少ないので、気になる人は自分に合ったものを日本から持参したほうがよい。整理用品の品質は日本に比べると劣る。文具も大体揃うが、品質は良くない。

## &lt; 取扱店 &gt;

- ・ARPICO :69 Hyde Park Corner, Colombo 2, TEL- 2687305
- ・CARGILLS "FOOD CITY" :  
MAJESTIC CITY, STAPLES STREET (Near the JAIC Hilton Tower),  
RAJAGIRIYA, MILLERS BUILDING at Fort (Near the Standard Chartered Bank)
- ・KEELLS SUPER MARKETS :  
LIBERTY PLAZA (Basement), CREASCAT (Basement)
- ・コルピティヤマーケット内に並ぶ数軒の雑貨店

**5-4 工具、素材**

## &lt; 一般事情 &gt;

日曜大工道具、車両修理工具、木材、ネジ、金属素材、多種にわたる部品類もほとんど全て購入可能。中国製、インド製が多いが日本製もある。値段も日本より安い

ものが多い。

<日本から持参すると良いもの>

特殊工具等、専門分野で使用するものによっては、持参したほうがよい。

<取扱店>

・Hunters :421 T.B.Jayah Mawatha, Colombo 10

・ARPICO :69 Hyde Park Corner, Colombo 2, TEL :2687305

・A C PAUL & COMPANY LIMITED :

No. 326, Sri Sangaraja Mawatha, Colombo 10, TEL :011-2431018

・DIESEL & MOTOR ENGINEERING COMPANY LIMITED :

No. 65, Jetawana Road, Colombo 14, TEL :011-2449797

・ST. ANTHONY'S (PVT) LIMITED :

No. 524, Sri Sangaraja Mawatha, Colombo 10, TEL :011-2324216-5

・SIGMA ENTERPRISES :

No. 359, Sri Sangaraja Mawatha, Colombo 10, TEL :011-2422628

・ORIENTAL ENGINEERING EQUIPMENT & SERVICE :

No. 412 1/1, Sri Sangaraja Mawatha, Colombo 10, TEL :011-2390460

・Slave Island メイン通りにある数軒並ぶ各ハードウェアショップ

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

#### (1) 銀行

スリランカの銀行は、通常個人で使用するものとしては、国営と民間資本の普通銀行に分けられる。国営銀行は、Bank of Ceylon, Peoples Bankがある

民間銀行は、Hatton National Bank, Sampath Bank, Commercial Bankの国内資本の銀行と、Hong Kong Shanghai Bank, Standard Chartered Bankの外国資本銀行がある。

窓口業務の営業時間は、平日の午前9時から午後4時ころまでのところが通常の営業時間で、支店によっては時間外や休日に営業を行うところもあることから、必要に応じ利用する銀行に確認すること。

#### (2) 口座の開設と閉鎖

銀行口座の開設は、パスポートと伴に所定の様式に記入申請のうえで、数日のうちに口座の開設が可能である。通常、JICA関係者が開設する口座は、米ドル口座とスリランカルピー口座を開設し使い分けしている。米ドル口座は普通預金口座で、ルピー口座は当座預金口座となり小切手とキャッシュカードがついている。

また、JICAの関係者の場合日本からの送金は米ドル口座に入金し、必要な都度ルピー口座に振り替え、キャッシュカードを利用して現金を引き出している。CD機は24時間使用が可能となっている。引き出しに係る費用は一切かからない。また、1日に引き出す金額に上限額を設けられている(Standard Chartered Bankの場合はRs.40,000)。ルピーからドルへの両替は一定の制約があるため、ルピーへの両替

は必要な金額のみにとどめ交換することが望ましい。ちなみに国外旅行時に航空券を掲示すれば、外貨としてドル現金で引き出せる。金額は、2,000ドルまでと決められている。2,000ドル以上の引き出しが外貨で必要な場合は、米ドルのトラベラーズチェックでの可否を、銀行に相談することとなる。

口座の閉鎖は、通常は帰国前に日本への送金手続きを予め終わらせたうえで、口座を閉鎖することになるが、場合によっては帰国後に入金するケースもあり、その場合は銀行にデポジット等の入金後に、日本への送金手続きを依頼するレターを作成し、銀行が帰国後にデポジット等の返金を確認したうえで、日本に送金するケースもある。必要に応じて事前取引銀行に相談する必要がある。

#### (3) 小切手

当国では、一般的には現金で売買しているところが多いが、旅行代金等ある程度の高額な金額のものについては、小切手を使用して支払いを行うことになる。通常は現金で支払を行う。

#### (4) 換金方法

空港の銀行や、市中の銀行で両替をすることになるが、まず入国した場合は空港での両替をお勧めする。TC、キャッシュとも両替に問題はなく、円でもドルでも比較的何処でも両替は可能。出国時のルピーからドルへの換金は、直近6ヶ月に換金した金額を上限に戻すことが可能。

## 6-2 クレジットカード

クレジットカードは広く普及し、Visa、Master Amex、Dinnersの利用が可能であるが、スキミングの被害も多いため、高級ホテル等においても使用は控えたほうがよい。

## 7. 交通事情



### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

バスサービスはかなり発達しており、ほぼ全ての主要都市にアクセスできるが、案内が現地語のみであったり、バス停の場所が分かりづらいなど、慣れるまでに時間がかかる。道路は比較的整備されている。日本と同様、車は左側通行である。ロータリー方式で、信号機は少ない。なお、運転マナーの悪さ、歩行者の不注意などにより交通事故が多発しており、十分な注意が必要である。またスリーウィリーという三輪車がタクシーとして走っており、近隣への移動の際には便利であるが、急な車線変更など乱暴運転が目立ち注意を要する。

#### (2) 空港から市内への移動

##### a) 交通手段

タクシー : 空港でチャーターできる

##### b) 料金

タクシー : 空港内で申し込むとRs.2000前後

## (3) 自家用車を利用する場合

専用の運転手を雇用するのが一般的である。万一の事故などを考えた場合、無用なトラブルに巻き込まれないためにも運転手を雇用するのが望ましい。

## (4) レンタカーなどを利用する場合

主な業者は次のとおりである。

・Mackinnos Travels Ltd.

電話 : 449632, 329887

備考 : AVIS レンタカー代理店

・Keels Transport

電話 : 524498, 522351 ~ 2, 522365

・Laksen Enterprises

電話 : 590900

・Ansan Travels

電話 : 530840

・E.C.D. Transporters

電話 : 522758, 523042, 523239

タクシーはホテルで頼むことができる。または次の業者に依頼する。

・Quick Radio Cab

電話 : 502888

・Ace Radio Cab

電話 : 501502 ~ 4, 501653

・GNTC

電話 : 688688

・Airport Express

電話 : 687037, 698207

そのほか、三輪車の料金は距離によるが、コロombo市内であればRs.100 ~ 250前後でたいのいところへ行くことができる。必ず乗車前に行き先を告げ、値段交渉を行う。

## (5) 地図

「Arjuna's A-Z Street Guide」が便利である。ただし、道路の名前がよく変わるので、広告などに出ている住所では載っていないこともあり、注意しなくてはならない。書店で入手可能である。

・Survey Dept., Map Sales Centre

所在地 : Land Settlement Dept Building, York Street, Colombo 1

電話 : 435328

・Surveyor General Office

所在地 : 506, Kirula Road, Narahenpita, Colombo 5

電話 : 585111

## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

コロボ市内での事故はスピードが出ていないこともあり、接触事故程度のも  
が多い。急な車線変更による側面接触事故が大半である。どのような場合であつて  
も、相手側に対する保険求償で車両を修理するのは非常に困難である。

事故発生時には原則としてまず最寄りの警察署へ通報し、その指示に従うこと。  
相手側から事故責任のクレームがあつても、その場で簡単に同意書を書いたりしな  
いように注意する。逆に、相手側の過失で衝突された場合には、可能な限り同意書  
を取り付けておくといふ。ただし無理強いはしないこと。また、けが人などが出た場  
合は、救急車、プライベートカー、タクシーなどを利用して病院へ運ぶ。

### (2) 救急病院

#### < 救急車 >

・ 火事、救急車

電 話 : 422222

・ 赤十字

電 話 : 691095、695434

#### < 救急病院 >

・ National Hospital of SRI LANKA

電 話 : 691111

備 考 : 交通事故の場合はAccident serviceで対応するのが望ましい。

・ Nawaloka Hospital

電 話 : 546254、544444 ~ 8

・ Asiri Hospital

電 話 : 500608 ~ 11

・ Durdans Hospital

電 話 : 575205 ~ 7、573930

・ Joseph Fraser Memorial Hospital

電 話 : 588386、588466

### (3) 車両の盗難、車上荒らし

原則としてまず最寄りの警察署へ通報し、その指示に従うこと。

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

右側優先の原則がある以外には、日本の法規と大差はない。しかし、ドライバー  
のマナーはよいとはいえず、また、歩行者の飛び出しもあり、慣れるまでは神経を  
使う。特にロータリーに進入する際には、すでに進入している右側の車が優先車  
であるにもかかわらず後から割り込む車があつたり、直線車線で右折しようとする車  
があつたりと、注意を要する。

## (2) 罰金、罰則

運転手はスリランカ人を雇用することが望ましい。また、自動車保険は最悪のケースを考えて、対人、対物などすべてを対象とした保険に加入することを勧める。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

純正部品はないことがある。

### (2) 修理工場

#### ・Surendra Motors

所在地 : 3, Negombo Road, Wattala

電話 : 530280

#### ・Automobile Association of Ceylon

所在地 : 40 Sir Mohamed Macan Markar Mawatha, Colombo 3

電話 : 421528 ~ 9

#### ・Brown and Co. Ltd.

所在地 : 481 TB Jayah Mawatha, Colombo 10

電話 : 597111

#### ・United Motors (三菱系)

所在地 : 100, Hyde Park Corner, Colombo 2

電話 : 448112

#### ・Toyota Lanka Ltd., (販売、トヨタ系)

所在地 : 50, Hyde Park Corner, Colombo 2

電話 : 327223

#### ・Orugodawatte Complex (スペア、サービス、修理、トヨタ系)

所在地 : 60, New Kelani Bridge, Orugodawatte

電話 : 431985, 436175

#### ・Associated Motorways (日産系)

所在地 : 185, Union Place, Colombo 2

電話 : 433371 ~ 4

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

都市部では一般への普及度も高く、コロンボ市内での邦人の仕事、生活上には特に不便はない。新規の設置にはかなりの日数を要する。ただし、民間電話会社を取り扱う携帯電話の取得は容易で、かなり普及している。なお、公衆電話は郵便局、空港、一流ホテルのほか、テレホンカードを使用できるものが市内にあるが携帯電話の普及に伴い、設置台数が減少している。一般家庭の電話は国際通話回線に接続できないものもあるので、住居の賃貸契約の前に家主に確認しておくこと。

また、携帯電話を扱う会社は数社あり、年々普及率が上昇している。会社により、電波の届くところが異なるため、確認を要する。

#### (2) 国内電話

通話料金はダイヤル直通で次のとおりである。

- ・首都圏内 : 1分間でRs.2
- ・市外通話 : 地域により、1分間でRs.3

ただし、最繁時、夜間時は前記と異なる。

#### (3) 国際電話

パーソン・トゥー・パーソンコール、コレクトコールがある。

パーソン・トゥー・パーソンコールは1分あたり約Rs.20。

コレクトコールは、日本語の交換手が対応するコレクトコール、KDDIジャパンダイレクトもあり、こちらは2431-431。(コロンボ市外の場合、112-431-431)

#### (4) 携帯電話

代表的な携帯電話会社として、Dialog、Mobitel、Celltel、Hutch、Airtelが挙げられる。発信と着信共に課金され、国内電話はRs.3/分、国際電話はRs.28/分。支払方法はプリペイド式と請求式があり、プリペイド式の場合、電話会社のマークをつけた商店で購入することが出来る。

## 8-2 電信

#### (1) ファクシミリ

該当情報なし。

#### (2) テレックス

該当情報なし。

#### (3) 電報

該当情報なし。

#### (4) インターネット

コロンボには数社のプロバイダーがあり、E-mail通信およびWebの閲覧が可能である。赴任時にE-mail通信ソフトの日本語版を持参するとよい。接続方法は、ダイヤルアップ方式が一般的であるが、SLT(Sri Lanka Telecom)がADSL方式512Kbps(制限あり月額約Rs.1500、制限なし月額約Rs.2500)を提供している。また、Dialogueによるワイヤレスサービスも利用可能(制限なし月額約Rs.3500)。

なお、当地は停電が頻発するのでUPS(Uninterruptible Power Supply)を当地にて購入、接続することが望ましい。

賃貸住宅にオーナー名義の電話が既に設置されており、インターネットの契約を申し込む場合は、申請書にオーナーのサインが必要となる。

・SRI LANKA TELECOM

所在地 : Telecom Headquarters, Lotus Road, Colombo 1

電話 : +94-11-2329711

URL : <http://www.slt.lk/>

## ・LANKA INTER NET

所在地 : No.443, Galle Road , Colombo 3 , Sri Lanka

電話 : +94-11-2559600

FAX : +94-11-2559599

URL : <http://www.lisl.lanka.net/>E-mail : [info@lankainternet.net](mailto:info@lankainternet.net)

## ・EUREKA INTERNET

所在地 : 3rd Floor, 321 Galle Road, Colombo 3

電話 : +94 11 2 564277

FAX : +94 11 2 564278

URL : <http://www.eureka.lk/>**8-3 郵便**

## (1) 一般事情

スリランカからの外国向け航空郵便の所要日数は、日本、ヨーロッパは5～7日、米国までは7～10日、同じく小包は航空便で日本、ヨーロッパ間が5日、船便の場合は1～3ヶ月である。料金は日本へは10gまでがRs.45、それ以上は10gごとに加算される。郵便局の営業時間は、月～金曜日8:00～17:00、土曜日が8:00～13:30である。

## ・中央郵便局

所在地 : D.R. Wijewardena Mawatha, Colombo 1

電話 : 326203, 323140

## (2) 課税

すべての郵便小包は、原則、各郵便局内の受け取り場所(中央郵便局内のForeign Parcel Post Office)で開封される。カメラ、フィルム、テープレコーダー、ラジオ、カセットテープなど高価なものは高額課税の対象となる。本は無税だが、子供のおもちゃ、日本食品、新品の衣料などは課税の対象となり、受け取りの手続きには時間がかかる。荷物の受け取りには、本人がパスポートまたはスリランカ国発行の運転免許証(IDカードでも可)を持参する。引越越し荷物などの場合には、航空便、船便ともに引き取り手続きが複雑なため、日本国内の専門業者に委託、代行してもらうのが便利である。

## (3) 国際宅配サービス

DHL、OCS等のサービスあり。

**9. コンピューター****9-1 ハード、ソフト**

## (1) 調達の方法

コンピューターを現地調達することは可能である。技術者などの人材が不足しているが、簡単なサービス提供はする。日本の大手メーカーのコンピューターを持参

することが、修理を考えると懸命である。

日本語のソフトウェアを購入することは、非常に困難であるため、日本から持参することを勧める。市内の多くのショップでは海賊版が販売されており、正規版を入手することが困難であるが、Metropolitanなどの法人向け販売会社を利用すれば、日本語版を含め正規版のソフトウェアを購入することも可能。

#### (2)使用の際の注意

コンピューターを利用する場合は突然の停電での損傷に備え、UPSを現地で購入することを勧める。

#### (3)修理

全てとはいえないが多くの日本の大手メーカーの代理店が存在するため、部品の交換を含め、簡単な修理は可能である。

#### (4)インターネットカフェ

コロボ市内の複数個所にインターネットカフェがある。

## 10. 職場環境、勤務条件



### 10-1 職場環境、勤務条件

#### (1)就業時間

JICA専門家の就業時間は配属先のルールに従うことが多い。一般的な就業時間は8:30～17:00で、昼食休憩は12:30～13:30頃である。スリランカには残業の習慣はあまりないが、外資系企業を中心とした民間企業や官公庁幹部のなかには残業が日常化しているところもある。

#### (2)有給休暇

官公庁では、土日が休みとなるほか、所定の有給休暇が付与されることになっている。

JICA専門家が外国旅行を予定する場合、配属先から書面で許可を得た上で、JICAの規定により有給休暇を取得することとなる。

#### (3)執務室

一般的には幹部は個室を与えられ、その他は大部屋で執務している。

JICA専門家の配属先は、個室もしくは相部屋もあるが、事務所内で現地スタッフと机を並べることもある。執務室には少なくともルームクーラー、机、椅子、電話などの基本的な事務用品は整っている。

#### (4)通勤事情

JICA専門家の場合、自家用車、配属先車両、もしくはタクシーを利用して通勤するのが一般的である。交通機関として電車、バス、乗り合いワゴンがあるが、一部を除いてクーラーがないなど乗り心地が悪くなく、治安上も不安がある。

## 11. 出入国手続き



### 11-1 入国

#### (1) 空港施設概要

日本からの便が到着するのは、コロンボの北34kmにあるコロンボ国際空港(別名バンダラナイケ空港)である。日本の援助(円借款)で建設された空港であり、空港施設は概ね整備されている。

#### (2) 入国手続き書類

入国手続きは、検疫、入国審査、税関検査の順で行われる。検疫は、感染地を経由してきた旅行者のみを対象とし、通常は日本から直行した旅行者は対象外となる。

#### (3) 入国審査

機内で配られる入国審査カードに各自で必要事項を記入し、入国審査官のチェックを受ける。この後、1階に降り、ターンテーブル(荷物台)にて出てくる預け入れ荷物を受け取り、申告物品がない場合は、「Nothing to be declared」通路(通関セクションの右端通路)を通過してロビーに出る。申告が必要な場合は、ホール中央の申告スペースへ行き、申告カードを提示し、審査を受ける。

#### (4) 税関検査

規定以上のカメラや付属品、テープレコーダーなどの特殊な機材を持ち込む場合は、税関職員の指示に従って申告する。

入国時に持ち込める免税許容量は次のとおりである。酒1.5リットル、ワイン2本、タバコは紙巻き200本、葉巻50本、パイプ用375g、250米ドル以内の土産物、カメラ2台、フィルム24本、8ミリカメラ1台、フィルム10巻、携帯用楽器1台、テープレコーダー1台、小型ラジオ、双眼鏡各1台、キャンプ用具一式。なお、デスクトップコンピューターを手荷物で携行する場合、一般的には25%の課税を空港で支払うか、空港内倉庫に一時保管され、必要書類を取得した後、数日後に引き取ることになる。ノート型PCなど、スーツケースに入るものは通常問題ない。

荷物検査が終わると、税関職員が税関申告カードにサインをして返してくれる。このカードは入国後、両替や外貨を使用するたびに提示する。出国時に出国カードとして税関に提出しなければならないので、大事に保管すること。念のため領収証も保管しておくこと。

ロビーには観光客案内所と両替のための銀行がある。レートは市内と変わらないため、ここで両替を済ませると良い。

#### (5) 空港内での留意点

該当情報なし。

#### (6) 出迎え

該当情報なし。

#### (7) 空港からの主な交通手段

空港から市内への交通は、エアポート&アヴィエーション・サービス社の冷房付き空港バスが、空港とHotel Ceylon Intercontinental、Galadari Hotel 経由でCinnamon Grand Hotelを結んでいる。バス以外にはタクシー、鉄道、ローカルバス

などが利用できるが、安全性や利便性からタクシーが最も推奨される。コロンボ市内までRs.1800前後、所要時間は約1時間である。前払い制のタクシーが空港出口までの通路沿いにカウンターを出しているの、これを利用するとよい。ただし時間帯によっては出払っていることも多い。

#### (8) その他の留意点

該当情報なし。

## 11-2 出国

### (1) 出国時の概要

空港ロビーの銀行では、使い残したスリランカ通貨を米ドルに両替できる。その際、入国時にルピーに両替した証明が必要となる。

### (2) リコンファーム

空港にスリランカ・エアラインのカウンターがあるため、滞在が1週間程度の人にはリコンファームをしておくとい。

原則的には出発72時間以上前に航空会社に連絡し、リコンファームをしておかないと予約が取り消されることがあるが、シンガポールエアラインはリコンファームの必要なし。

### (3) チェックイン

原則的には3時間前からチェックインを受け付けている。ダブルブッキングによる搭乗不可を防ぐため、出発2時間前にはチェックインしたほうがよい。

### (4) 出国税

Rs. 1500は通常航空運賃に含まれる。

### (5) 出国手続き上の留意点

出国審査は、入国時に渡された税関申告カードとパスポートを提示して行われる。この時、持ち込み外貨額内で購入した宝石や、外貨を支払って購入した物品の領収証の提示を求められることもあるので用意しておくこと。

3kg以上の紅茶の持ち出しには、超過分1kgごとに課税される。

このほか、250ルピーを超えるスリランカ貨幣、骨董品、古美術品、象牙、亀甲製品、ヤシ皮写本は持ち出し禁止である。

チェックインの前に荷物検査があり、航空会社に預ける荷物は通常すべて開けられチェックされる。アーミーナイフなどの持ち込みは禁止されている。

## 11-3 帰国手続き

### (1) 帰国時に必要な事務手続き

銀行口座の開設、日本人会退会(加入者のみ)、在留届(帰国)提出等がある。

### (2) 車の処分

免税で輸入した車は、援助関係者など免税特権者に売却する場合は、免税で売却できる。オープンマーケットで売却する場合は、課税されることとなるので税関に申請し、評価を行なってもらう必要がある。なお、日本への持ち帰りも可能。

### (3) 家財道具の処分

家財道具の処分は業者に委託し売却することもできるが、邦人の場合は後任者へ譲渡するか、ガレージセールなどで安価に売却することが多い。

### (4) 住宅の明け渡し

住宅の明け渡しについては、期日が決定したら早めに家主に知らせることが、望ましい。水道、電気、電話代などの請求書は遅れて到着することが多いため、最終請求書の月日を確認の上、賃貸住宅の場合は家主と相談し2～3ヶ月程度の金額を置いていくのがよい。

### (5) 外貨持ち出し規制

入国時に申告した金額以内で持ち出すことが出来る。

## 12. 治安、 緊急時の心得



### 12-1 暴動、クーデターなど

#### (1) 一般事情

政府と反政府テロ組織LTTE(タミールイーラム解放の虎)との内戦が続いた後、2002年に停戦合意後が結ばれ、治安は落ち着きを見せていた。しかし、2005年11月の大統領選挙以降、治安状況が急速に悪化し、LTTEによるとされるテロ殺傷事件が北東部地域で急増した。2006年2月にはノルウェー政府の仲介による政府-LTTE両者代表による停戦協定遵守のための会合が開催され、一度治安は回復をみせたものの、第2回会合を控えた4月に再び治安が悪化し、会合は延期された。空爆やテロ行為が散発する中、7月下旬に、LTTEが北東部トリンコマリ-南部の一部地域の灌漑施設の水門を閉鎖し、同地域への水供給を停止したため、トリンコマリ及びジャフナにおいて政府軍とLTTEの本格的な戦闘が開始された。LTTEは軽飛行機による空爆や各地でテロ攻撃を展開し、2007年1月にはコロンボフォート駅で大規模な自爆テロが発生した。他方、政府は2007年7月に東部LTTE支配地域を奪回した。2008年1月には、政府は軍事衝突・テロ事件が頻発している状況を踏まえ同合意からの脱退を決定し、停戦合意は正式に失効した。

その後、東部地域については、2008年5月に州議会選挙が実施され、LTTEが関与したと思われるタミル・ムスリム間での衝突が散発しているものの、比較的状況は改善されており、外務省による危険情報は2008年12月に一段階引き下げられた。北部地域については、引き続き政府軍とLTTEによる戦闘が継続している。2009年1月2日は、北部のLTTE活動拠点であったキリノッチが政府軍によって制圧されたが、報復攻撃とするテロ行為の増加が懸念されている。

JICA関係者の北東部地域への出張はその都度、治安状況を確認してその可否を判断している。

#### (2) 対処法

上記の通り、スリランカの治安状況は、政府軍の攻勢により戦闘地域は縮小傾向にあるものの、報復攻撃とするLTTEによるテロ行為が引き続き懸念される。来訪者は事前に必ず本部安全管理課を通じて最新の治安情報を確認する必要がある。

事務所では安全対策アドバイザーを通じ絶えず最新の治安情報を収集し、関係者に提供している。

新聞・テレビ等の情報や外務省が発表する安全情報等を参考に、無理な行動はせず、テロ行為のターゲットとなりうる場所への不要不急の滞在は避けることが望ましい。

## 12-2 強盗、盗難

### (1) 一般的治安状況

途上国の中では一般犯罪が少なかったが、停戦合意後は一般犯罪が増加している。邦人への被害も報告されているため、注意が必要である。

### (2) 住宅の防犯対策

可能であれば、24時間警備されている住居を選択することが望ましい。また、住居には2重の鍵をかけることを勧める。

### (3) 市中での防犯対策

該当情報なし。

### (4) 注意すべき場所、危険地域

バスや電車などの公共交通機関利用時には、スリや痴漢が多く発生しているため、十分注意が必要。

### (5) 被害時の心得

犯罪被害にあった場合は、無理に抵抗はせず、危険が過ぎ去ったあと、速やかに警察に通報した上で、被害報告を日本国大使館まで提出すること。

## 12-3 火災、風水害、地震

### (1) 一般的災害発生状況

一部南部及び南西部地域で雨季(5月から8月頃)の集中豪雨時に洪水災害が頻発する。地すべり、道路の寸断なども発生するため、当該時期の同地域への移動には十分注意する。2004年12月のインド洋地震にかかわる津波では甚大な被害を受けたが、スリランカ自体の地震災害はほとんどない。

### (2) 防災対策

該当情報なし。

### (3) 被災時の心得

該当情報なし。

## 12-4 緊急連絡先電話番号

・警察(緊急通報)

011-2433333

・火災通報・救急車

011-2422222

・救急医療センター  
011-2691111

## 13. 社交



### 13-1 風俗習慣

民族は、シンハラ、スリランカ・タミル、インド・タミル、その他に分かれる。したがって、宗教も仏教徒、ヒンズー教徒、キリスト教徒、イスラム教徒などに分かれる。

それぞれの宗教、慣習をよく理解し、慎重に対応することが大切である。また、バスの運転手の直後の座席は、仏僧がいれば譲ることになっている。

### 13-2 パーティーでの留意点

片言でも当地の言葉を覚え、当地の習慣を理解し、当地の人々にできる限りとけこむように努めることが重要である。スリランカ人はパーティー好きであり、深夜まで会話し、歌い、踊り、楽しむことが多い。主催者側は歌やゲームなどの企画をたてると喜ばれる。

外見では、タミル人かシンハラ人か他の民族なのかわかりにくいので、パーティーの席では政治的な話は慎んだほうがよい。

結婚式の時はプレゼントとお金を持参することが多い。

### 13-3 来客時の留意点

食事に招待する場合、宗教上の理由などにより、特に肉に関して気をつける必要がある。イスラム教徒は豚肉を、ヒンズー教徒は牛肉を食さない。

### 13-4 訪問時の留意点

簡単なもので構わないが、ケーキ、お酒、子供へのお土産を持参すると喜ばれる。

### 13-5 禁止されている言動(タブー)

特に多数の仏教徒がいる当国では、無益の殺生をすることは厳に慎むべきである。また、寺では建物内だけでなく境内に入ったところから靴を脱ぐほか、仏像、仏僧に対し不敬の感を与えるような態度、たとえば、石仏の上に立ったり、座ったり、あるいは仏像を背にして写真をとるなどは厳に慎むべきである。服装に関してもショート、ミニスカート等足の出るものは好ましくない。

### 13-6 日本人会

在留日本人の親睦団体であり、相互連絡、スポーツ大会、盆踊りなどの年中行事を開催している。スリランカには、約60社の邦人企業が進出、800人程度の在留者がいるが、日本人会には約40の企業・団体と約200人が参加している。

日本人会事務局 011-2435784

### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

JICAの日本での研修に参加し、帰国した人々によりJICA帰国研修員同窓会が組織されている。現在の会員は約1000名。スリランカ国内における各種ボランティア活動や日本人とスリランカ人の交流のための親睦活動を実施している。

### 13-8 現地の人々との交流

帰国研修生同窓会、文部科学省留学生同窓会、その他の同窓会が活発に活動している。

## 14. 教育



### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

スリランカでは、5歳から12歳までの小・中学校にあたる課程までが義務教育となっており、大学も含め全ての公立の学校の教材及び学費は無料である。教育制度は英国式がベースになっているが、学校の授業で使用する言語は、シンハラ語、タミル語となっている。また、施設や教材が不十分なことから、日本人を含めた外国人は、基本的には現地の公立校には通わずに、外国人学校(日本人学校を含む)で学んでいるケースがほとんどである。

#### (2) 日本人学校

コロombo日本人学校は、昭和41年に設置され40年の歴史を持ち、小学部1年より中学部3年までの児童・生徒が学んでいる。平成17年4月現在で、児童・生徒数は小学部で42名、中学部は7名が在学中である。

現在の校舎は、首都スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテに向かう幹線道路の途中に位置している。児童・生徒はスクールバスか、親の自家用車で通学している。

教育目標として、「自ら考え、心身ともにたくましい、粘り強い子の育成」を掲げて、学力基礎・基本の定着を確実にするとともに、同世代の現地校やインターナショナル校との交流会等を通じて、国際的センスのある日本人の育成を目指している。

特色としては、現地講師による週2時間の英会話を小学部1年から週2時間勉強しており、又、温暖な気候を生かし、週1時間の水泳指導を取り入れている。

TEL : 011-2669620,

E-mail : jscol@slt.net.lk,

HP : <http://www.geocities.co.jp/NeverLand/2959/>

#### (3) 現地校、外国人学校

一般事情でも記載したとおり、日本人が現地の公立校に通う割合はかなり低く、日本人学校かインターナショナルスクールに通うことがほとんどである。特に6歳以下の園児及び高校生の課程は日本人学校にはないため、インターナショナルスクールに通うことになる。

コロomboで、日本人が通うインターナショナルスクールは以下のようなものがある。

- a) The Overseas School of Colombo(教授方式はIB方式、幼稚園から高校まで)  
TEL : 011-2784920, E-mail : admin@osc.lk, HP : www.osc.lk
- b) Colombo International School(教授方式はイギリス式、幼稚園から高校まで)  
TEL : 011-2697587, E-mail : principal@cis.lk, HP : http://www.cis.lk
- c) Elizabeth Moir School (教授方式はイギリス式、幼稚園から高校まで)  
TEL : 011-2585682, E-mail : moir@eureka.lk,  
HP : http://www.eureka.lk/moir
- d) The British School in Colombo(教授方式はイギリス式、幼稚園から高校まで)  
TEL : 011-5329329, E-mail : admin@britishschool.lk,  
HP : www.britishschool.lk

他にも多数インターナショナルスクールがあるため、現地にて情報を集め事前に訪問・見学し学校関係者(先生)とも話をした上で、子供に合った学校を選択することが望ましい。

#### (4) 幼稚園

幼稚園に通う場合は、(3)で記載したインターナショナルスクールの幼稚園に通うか、現地及び外国人の幼児、園児を対象としたナーサリースクールに通っている。

ナーサリースクールは以下のようなものがある。

- a) First Step TEL : 011-2874002, E-mail : 2jsandc@sltnet.lk
- b) Guiding Steps TEL : 011-2879502

幼稚園についても、他にも多くあることから事前に情報を収集し、見学した上で子供に合ったところを選ぶのが望ましい。

## 14-2 教育関係施設

### (1) 図書館など

各市町村に図書館があり、日本語の書籍はほとんどなく日本人が使うことは稀と思われる。

日本の図書は、日本人会の図書室に多少ある。

### (2) 学習塾・教材など

東南アジアのシンガポールやマレーシア等にある、受験を目的とした学習塾はスリランカにはない。また、学習用教材も日系の書店がないため日本語の書籍が購入できず、必要な教材を日本で購入し持参するか日本の親族等に依頼して郵送している家庭もある。日本製の文房具の購入も難しいことから、どうしても必要なものは買い揃えて持参することをお勧めする。

現地に来た際には、教育を含めて子供に関係する情報を多数掲載する以下の書籍の購入をお勧めする。

“Sri Lanka for kids” What? Where? How?

Indra McCormik, Caroline MacDonald

Publish by Neptune Publications (Pvt)Ltd

(上述の書籍は、スリランカに3年間滞在し、インターナショナルスクールに子供を

通わせた2人の母親が協同で、子供を持つ親の参考書として執筆したもの)

## 15. 家庭の使用人



### 15-1 一般事情

比較的安価な給料で運転手、家政婦(夫)、庭師、ガードマン等の使用人を雇うことができる。

### 15-2 運転手

#### (1) 雇用

一般的には前任者や日本人関係者からの紹介で雇うことが多い。雇用に際してはまず面接を実施する。その際、運転手はライセンス、履歴書、前雇用の推薦状などを持参する事が普通である。雇用したい場合は、雇用条件を提示した上で1ヶ月程度の試用期間を設け、その後正式に雇用することが望ましい。雇用は、雇用条件等を明記した文章に双方がサインをする簡易な契約書の作成で済みます場合や弁護士を入れて正式の契約書を作る場合もあるが、いずれも後々にトラブルにならないよう賃金、勤務時間、休暇、解雇等に関する条件を明確にしておくことが重要である。

#### (2) 日常管理

無断欠勤、遅刻、ガソリンをごまかされるなど時々耳にするトラブルであるが、事実が発生した時点でその都度はっきり注意することが重要である。また、日勤表を準備し、毎日記録することはトラブルの予防につながる。けじめをつけた態度で接し、雇用する側と雇用される側の関係を崩さないことも必要である。

#### (3) 教育指導

交通マナーがよいとはいえず、交通事故も日常茶飯事である。巻き込まれないためにも、無理な追い越しやスピードの出し過ぎには、的確に注意をすることが必要。ただし、スリランカ人はプライドが高く自分の非を認めようとしない場合もあるので、それを踏まえたうえで粘り強く指導することが重要である。

#### (4) その他の留意点

日本人が雇用する場合は、1日8時間、週6日勤務で月額Rs.16 000前後、超過勤務は1時間に付きRs.100～125程度が相場である。その他に年1回半月～1ヶ月分ボーナスを渡す場合が多い。祝祭日は休みにすることが基本であるが、特別な希望のある場合は事前に相談して決める事が一般的である。ドライバー同志の情報交換も盛んであり、昇給等は他の日本人宅の使用人の昇給状況等を判断して行うことも必要である。また、必要以上の高給で雇用することにより、次の雇用先が見つからなくなり、結果として本人が苦勞することもある。

### 15-3 家政婦/夫

#### (1) 仕事の種類と人数

家事全般を1人のメイドで済みます場合が多いが、一軒家等の場合は料理担当、掃

除担当と複数のメイドを雇用する場合もある。小さい子供がいる家庭ではそれとは別にベビーシッターを置くケースもみられる。通い、住み込み共に人材はある。

#### (2)雇用

他の使用人と同じで、前任者や日本人関係者からの紹介による場合が多い。雇用に際してはまず面接を実施する。応募者は履歴書や前雇用者からの推薦状を持参する事も多い。雇用したい場合は、こちらの希望や賃金、勤務時間、休暇等の雇用条件を明確にしたうえで、1ヶ月程度の試用期間を設け、その後正式に雇用を決定することが望ましい。日本人の複数世帯が共同で雇用している場合もある。

#### (3)日常管理

掃除の仕方や衛生観念は人により大きく異なる。掃除の仕方等に不十分な点があれば、雇用初期の段階でこまめに指導することが必要。日本人に雇用された経験のある人の場合は問題が比較的少ないが、例えば布巾と台拭きが区別できなかったり、トイレの雑巾でダイニングテーブルを拭いたりといったことはよく聞く。またいくら信用のできる人物と思っても多額の現金を見えるところに置かない、貴重品は鍵のかかる場所にしまう等の注意は最低限必要である。電話の無断使用、冷蔵庫にあるものを勝手に食べるなどの苦情も多いが、持てるものが持たないものに施すのは当然のことという思想もあるので、電話の使用等は「必ず断ってから使用するよう」初期の段階でルールを決め、教育する事も重要である。無断使用をあいまいにしまった結果、留守中に部屋を無断使用したり、友人を家に入れたりといった大きなトラブルのもとになる場合もある。

日本人が雇用する場合は1日8時間、週6日勤務で月給Rs.14000程度が相場である。祝祭日は休みにする場合が多いが、特別な希望がある場合は相談して決める。日本料理が作れる場合は若干給料が高くなることが多い。ボーナスは年1回1ヶ月分というのが一般的

### 15-4 庭師、ガードマン

庭師については、庭付きの一軒家を借りた場合はその家の大家さんからの紹介ということが多い。もちろん庭木も含めての賃貸であるので、大家さんからの紹介が一番現実的である。

ガードマンについてはアパートメントやコンドミニアムのような集合住宅においては個人的に雇う必要はない。しかし一軒家に住む場合にはセキュリティ面で必要となる場合も多い。ガードマンが空き巣の手引きをした・・という話もあるので雇用には慎重を期し、信用できる警備会社、人物を選ぶことが肝要である。

## 16. メディア



### 16-1 新聞、雑誌

(1)現地発行の日刊紙

<英語紙(傾向)>

Daily News(政府系)

Island(中立、シンハラ傾)

Daily Mirror(中立)

The Nation(中立)

<シンハラ語>

Silmina(政府系)

Dinamina(政府系)

Divaina(中立、シンハラ傾)

Lankadeepa(中立)

<タミル語>

Thinakalan(政府系)

Thinakkural(中立)

Virakesari(中立)

(2)日本の日刊紙

Newspaper Direct社による日刊デリバリー・サービスあり。ただし、毎日、読売、スポニチと沖縄タイムスのみ。海外紙も各紙あり。新聞の大きさはタブロイド版。7000ルピー～/月。

詳しくは、Newspaper Direct :[www.newspaperdirect.com](http://www.newspaperdirect.com)参照

(3)欧米紙/誌

各国主要紙については上記Newspaper Direct社によるデリバリー・サービスあり。

(4)日本の雑誌、書籍

日本の雑誌、書籍を扱う書店等はなし。ただし、日本人会による日本の書籍(中古本)及びビデオの貸し出しサービスあり。

日本人会クラブハウス内 :

Sasakawa Memorial Hall, No 4, 22nd Lane, Colombo 3

TEL :2435784

## 16-2 ラジオ

(1)ラジオ放送局

ラジオは、英語、シンハラ語、タミル語で放送。主要なラジオ放送は次の通り。

- ・SLBC :公共放送。英語、シンハラ語、タミル語あり。
- ・YES FM :民間放送。英語
- ・TNL :民間放送。英語
- ・ABC Radio :民間放送。英語
- ・Lakhanda :公共放送。シンハラ語
- ・Sirasa :民間放送。シンハラ語
- ・Sri FM :民間放送。シンハラ語
- ・Shakthi :民間放送。タミル語

## (2)NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

ワールド、NHKプレミアム、ラジオジャパンともに視聴可能。詳しくは以下のURL参照。

## ・NHKワールド

[http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/howtowatch\\_j.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/howtowatch_j.html)

## ・NHKワールド・プレミアム

<http://www.nhk-jn.co.jp/wp/index.htm>

## ・ラジオジャパン

[http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/howtolisten\\_j.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/howtolisten_j.html)NHK

## (3)聴取可能なその他の外国放送

該当情報なし。

## 16-3 テレビ

## (1)地上波放送局

テレビは、政府支配地域において公共、民間合わせ11の放送局がある。各局の特徴は次の通り。

## ・Rupavahini(英語) :

別名SLRC(Sri Lanka Rupavahini Corporation)。公共放送局。日本の無償資金協力援助により1982年に放送開始。82年以降も放送技術、番組制作、撮影技術などの分野で日本による技術協力が2005年まで続けられた。

## ・Eye :

SLRC系で英語、タミル語のニュース及びスポーツ番組を放送している。

## ・ITN(Independent Television Institution)(英語) :

スリランカ初のテレビ放送局。設立当初は民間放送であったが、現在は公共放送。

## ・ARTV(英語) :

民間放送。CNNの視聴が可能。

## ・Swarnavahini(シンハラ語) :

スリランカで最も人気の高い民間シンハラ語放送。

## ・ETV(英語) :

Swarnavahiniと同系列経営の民間放送局。

## ・Sirasa(シンハラ語) :

インド系の民間放送。LTTE支配地域の情報にも通じている。

## ・MTV(英語、タミル語) :

Sirasaと同系列民間放送。

## ・TNL(シンハラ語、タミル語) :

民間放送。現野党UNP党首Ranil Wickramasingheの兄が経営。

## (2)衛星放送、ケーブルテレビなど

衛星放送、ケーブルテレビの視聴は可能。コロomboのプロバイダーは次の通り。

必要機器も入手可。

Star TELEvision Lanka Ltd. :

51/1 Fife Road, Colombo 5

TEL :2594528, 2596800

CBN Sat. :

83, George R de Silva Mw., Colombo 13

TEL :46060606

Micro Vision :

UG 41, People's Park, Colombo 11

TEL :2446519

Multi Vision(ケーブルテレビのみ) :

21, Anderson Rd., Colombo 5

TEL :2557100

### (3)テレビ受信

問題なし。

## 17. スポーツ、 趣味、 語学学習



### 17-1 スポーツ

#### (1)ゴルフ

スリランカでのゴルフ人口は多くない。コロンボにはゴルフ場が2つあるが(2008年12月現在)、主に外国人や邦人が利用していることが多い。メンバー登録をすれば、一回Rs.4000程度でコースを回ることが出来る。ビジターは予約がない場合のみ使用できる。その他ヌワラエリヤとキャンディーにもゴルフコースがある。

#### (2)テニス、フィットネス

コロンボ市内には、数多くフィットネスがあり、ホテルの施設となっているところも多い。一年もしくは半年の会員制のフィットネスが多く、年間会員費はRs.100,000前後となっている。市内のフィットネスでは、外国人料金を設定しているところもある。

#### (3)その他のスポーツ

スポーツ施設では、プール、スカッシュ、バドミントンなども楽しむことが出来る。

### 17-2 趣味

該当情報なし。

### 17-3 語学学習

#### (1)語学学習施設

該当情報なし。

#### (2)家庭教師

該当情報なし。

## 18. 観光



### 18-1 地方旅行の留意点

一般の交通機関(バス、鉄道)を利用した旅行も可能であるが、観光客の多くが運転手付きレンタカー、自家用車または旅行代理店を通して手配した車を利用して旅行している。ホテルタクシーは宿泊の必要な長距離であっても走ってくれる。旅行計画を立てる際には、外務省、在スリランカ日本大使館、JICA事務所等による安全情報を必ず確認し、政治状況を考慮し十分安全に配慮されたい。観光情報収集の際にはガイドブックやインターネットの利用が便利。(地球の歩き方、ロンリープラネットなど)

### 18-2 主要観光地・保養地

スリランカ国内の観光地域は、主に下記の5つの地域に分類できる。

#### <コロンボ、コロンボ周辺地域>

##### ・コロンボ市内：

ゴール・フェイス・グリーン、アート・ギャラリー、コロンボ国立博物館、オランダ時代博物館、ヴィハーラ・マハー・デーウィ公園(ヴィクトリア)など

##### ・デヒワラ：

デヒワラ動物園(象のショーが有名)

##### ・スリー・ジャヤワルダナプラ(コートテ)：

国会議事堂、グラモダヤ民族芸術センター

##### ・キャラニア(Kelaniya)：

ラジャ・マハー・ヴィハーラ仏教寺院

##### ・マウント・ラヴィニヤ：

マウント・ラヴィニヤホテル

#### <キャンディ、丘陵地帯>

##### ・キャンディ：

Sacred City of Kandy(聖地キャンディ)として世界遺産に登録されている。ペラヘラ祭(7 - 8月)、仏歯寺、キャンディ国立博物館、キャンディアン・ダンス(キャンディ芸術協会、王宮跡、キャンディ・レイク・クラブ、Y.M.B.A)

##### ・ペラデニヤ：

ペラデニヤ植物園

##### ・ピンナワラ：

Pinnawala Elephant's Orphanage(象の孤児園)

##### ・スリーパーダ：

スリーパーダ(アダムス・ピーク)と呼ばれる巡礼の山

##### ・ヌワラエリヤ：

スリランカの高原地帯。英国植民地時代の避暑地。

##### ・ホートン・ブレインズ国立公園：

ワールズ・エンド

## &lt;文化三角地帯&gt;

## ・アヌラーダブラ :

スリランカ最古の都があった場所。仏教遺跡は世界遺産として登録されている。

## ・ポロンナルワ :

シンハラ王朝の首都があった場所。仏教遺跡は世界遺産として登録されている。

## ・シーギリヤ :

ジャングルの中の岩山の頂上に造られた王宮。世界遺産として登録されている。

## ・ダンブッラ :

スリランカ最大の石窟寺院。世界遺産として登録されている。

\* その他、周辺地域には多くの遺跡が点在。

## &lt;南西海岸地帯&gt;

## ・ニゴンボ :

空港から近くリゾートホテルが建ち並び、魚市場も見もの。

## ・ウッドゥワ・ベールワラ・ベントタ・アルトゥガマ・ヒッカドゥワ・ウナワトゥナ・ウエリガマ・タンガッラ :

海岸沿いに様々な規模のホテルが建つ。アーユルベエダやマリンスポーツなどのプログラムを用意しているところが多い。

## ・ゴール :

旧市街と城塞が世界遺産として登録されている。

## &lt;北部・東部地域&gt;

現在、JICA関係者のこの地域への観光旅行は禁止されている。

その他、スリランカ国土全体の10%近い面積にあたる国立公園や自然保護区ではサファリを実施している。南西部にあるスリランカ最大のヤーラ国立公園一帯への立ち入りは禁止されている。

**18-3 旅行代理店**

各種旅行代理店がある。旅行代理店との金額交渉はあらかじめ見積もりをもらい、大体の予算を知った上で行くとよい。また、同時に複数の旅行代理店から見積もりをとることを勧める。日本語で対応してくれる旅行代理店もコロンボ市内にいくつかある。

## &lt;日本語で対応してくれる旅行代理店&gt;

## ・クラシック・トラベル(Classic Travel)

所在地 : 379/4 Galle Road, Colombo 3

電話 : 4524100

ヒマニさんという女性に対応。

・観光アラリヤ (Kanko Araliya)

所在地 : 63, 1/2 Alexandra Place, Colombo 7

電話 : 2672532, 2697840, 2695558

日本人スタッフ2名と日本語が話せる現地スタッフが対応。

## 19. 私財の輸送、 引き取り、購入



### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

国際的な運輸業者の代理店は数多くあり、日本 - スリランカ間では、現地代理店を持つ日本の運送業者に連絡を取ると良い。主な運送業者はイエローページを参照

#### (2) 輸入手続と受取

日本の運送業者に見積もりを取り、手続を進める。スリランカに到着した荷物は船便の場合はコロombo港、空便の場合はコロomboにある個人用貨物倉庫に保管される。その後、現地代理店に対し必要書類を送付し、通関手続を依頼することになる。現地代理店に依頼すれば自宅まで届けてくれる。

受け取りまでの期間は、諸手続を含め、船便は約1ヶ月、空便は約1週間弱を見込むと良い。

### 19-2 自動車

#### (1) 現地で購入する場合

課税された車を購入する場合、業者を通して購入することは比較的容易である。免税特権者が免税車を購入する場合は、帰国予定の外交官等の免税特権者の中古車を探すこととなる。

#### (2) 現地に輸入する場合

自動車購入に際して、通常税関より約500%の関税が課せられる。新車もしくは登録後3年未満の中古車であれば、日本より持ち込むことが可能である。

輸入手続は、各自動車メーカーの現地代理店に問い合わせると良い。通常新車の輸入購入には、本邦で発注後、製造、船積み、輸送を経て入手するまでに約3ヶ月を要する。中古車の輸入については約1ヶ月を要する。登録後3年以上の中古車を輸入する場合は、Import & Export Control Dept.(53 2/1, Sir Baron Jayatillake Mvo, Colombo-1 :電話011-422681 ~ 5)より輸入許可証を取得する必要がある。

代表的な現地代理店は以下のとおり。

・Toyota : Toyota Lanka (Pvt) Ltd.

所在地 : 337, Negombo Road, Wattala

電話 : 011-2940940

・Nissan : Associated Motorways

所在地 : 185, Union Place, Colombo 2

電話 : 011-2433371

- ・Mitsubishi :United Moters  
所在地 :100, Hyde Park Corner, Colombo 2  
電話 :011-2448112
- ・Honda :Stafford Motor Campany  
所在地 :Maradana Road, Colombo 10  
電話 :011-2694488.
- ・Mazda :Car Mart Ltd.  
所在地 :424, Union Place, Colombo 12  
電話 :011-2696311-5

これらの代理店は、整備、部品供給などアフターサービスも行なっているが、部品は課税されているため、かなり割高となる。

### (3)自動車登録

該当情報なし。

### (4)免許証取得

1年間は国際免許証で運転することができるが、日本の免許所持者にはスリランカの運転免許証は無試験で交付されるため、こちらを勧める。交付については、日本の免許証を日本国大使館にて翻訳(有料)してもらい、Register of Motor Vehicles, Moter Traffic Dept.にて申請を行なう。

運転免許の新規取得も可能だが、Register of Motor Vehicles, Moter Traffic Dept.に申請の上、路上運転試験及び面接試験が必要となり、手続きが煩雑なため推奨しない。

### (5)保険、税金

車両を利用する際には保険の加入が義務付けられており、保険に加入しないと車両登録ができない。保険金額は日本並みに高いが、Full Optionという対人、対物、自損もカバーする保険が望ましい。(約10万円/年間)ただし、対人の補償金額はかなり低い。

保険会社は以下の通り。

- ・National Insurance Corporation  
所在地 :47, Muttiah Road, Colombo 2  
電話 :011-2445738
- ・Ceylinco Insurance Co. Ltd.  
所在地 :69, Janadhipathi Mawatha, Colombo 1  
電話 :011-2485757
- ・Jyanashakthi Insurance Co. Ltd.,  
所在地 :47, Muttiah Road, Colombo 2,  
電話 :011-2309999,

## 20. 地方都市



### (1) 各地方都市の規模と特徴

#### <キャンディ>

スリランカ最後の王朝所在地。中部州の州都。首都コロomboの東90キロ。人口約15万人でコロomboに次ぐ第2の都市。標高300メートル。キャンディ湖畔に仏歯寺が建ち、ペラデニヤ植物園、ペラデニヤ大学が存在する。

#### <ゴール>

南部最大の都市。南部集の州都。人口13万人。ゴール港は自然の良港であると同時にオランダ統治時代のゴール・フォート(砦)が歴史遺産として残っている。

#### <ネゴンボ>

コロombo国際空港の北約20キロ。人口15万人の漁業中心のクリスチャンの町。

#### <アヌラーダブラ>

コロomboの北東約15キロ。北中部州の州都で人口約7万人。スリランカ最初の都市で1017年までは首都であった。スリランカの文化三角地帯の中心。町中に仏教遺跡があり、特に釈迦が悟りを啓いたインドの菩提樹縁のスリマハポーディア菩提樹や巨大なバゴダは有名。

#### <ヌワラエリヤ>

もっとも高地にある都市。最も高いところは標高2524メートルで平均気温16度。人口約3万。野菜栽培、お茶のプランテーションが盛ん。

#### <クルネーガラ>

北西部州の州都。人口約3万人。16世紀には王都がおかれた。

#### <ラトナブラ>

サバラガムワ州の州都。人口約5万。宝石の生産地。雨季にはカル川が溢れ、頻繁に洪水災害に見舞われる。

#### <バドゥッラ>

ウヴァ州の州都。人口約4万人。お茶のプランテーション及び野菜栽培が盛ん。鉄道の終着駅。

#### <ジャフナ>

スリランカ最北の都市。人口約8万。タミル人の町。

#### <バティカロア>

東部主要都市のひとつ。人口約8万人。タミル人とモスリム人が居住。

#### <トリンコモリー>

北東部の主要都市。スリランカ最大の自然港湾を有する。シンハラ、タミル、モスリム人が居住。人口約9万人。北東部州の州都。

#### <カルムナイ>

東部主要都市のひとつ。人口約11万人。多くはモスリム人。2004年の津波では最大の被災地となった。ジャフナ、バティカロアほどではないが、散発的なテロ事件等が発生している。

(2) JICA事業サイト・マップ(2008年末現在)

JICAホームページ内、以下公開資料を参照されたい。

(<http://www.jica.go.jp/srilanka/index.html>)

- ・ ニュース・国概要・JICAの取り組み
- ・ 国別案件配置図【実施中案件】

## Part 3 イエローページ

\*特に記載のない限り、事務所周辺の情報が中心になっています。

## 1. JICA 事務所

名称	JICA SRI LANKA OFFICE
所在地	Level 13, DHPL Building, #42, Navam Mawatha, Colombo 02, Sri Lanka
TEL/FAX	Technical Assistance and Grant Aid related issues TEL: (94-11)2303700 / FAX : (94-11)2303692 ODA Loans related issues TEL: (94-11-2300470 / FAX : (94-11)2300473
URL/E-mail	http://www.jica.go.jp/srilanka/index.html E-mail :jicasl@jica.go.jp

## 2. 在スリランカ日本大使館

所在地	No. 20, Gregory's Road, Colombo 07, Sri Lanka (P.C. Box 822 Colombo)
TEL/FAX	TEL : (94-11)2693831~3 / FAX : (94-11)2698629

## 3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL : (11)2693831~3
警察	TEL : 119 (コロンボ) 243-3333
消防	TEL : 242-2222
救急車	TEL : 269-1111

## 4. ホテル

Cinnamon Grand Colombo (シナモン・グランド・コロンボ)	77, Galle Road, Colombo 03 TEL: 243-7437 FAX: 244-9280 URL: <a href="http://www.cinnamonhotels.com/Grand/CinnamonGrand.htm">http://www.cinnamonhotels.com/Grand/CinnamonGrand.htm</a> E-mail: <a href="mailto:grand@cinnamonhotels.com">grand@cinnamonhotels.com</a> 料金: シングル US\$150, ダブル US\$170 (credit card) American Express, Diners, JCB, Master, VISA
Galle Face Hotel (ゴールフェイス・ホテル)	2, Galle Road, Colombo 03 TEL: 254-1010-6 FAX: 268-1246 URL: E-mail: 料金: シングル・ダブル, US\$125 ~ 180 (税・サービス料込み) (credit card) American Express, Diners, Master, VISA
Trans Asia Hotel (トランス・アジア・ホテル)	115, Sir Chittampalam A. Gardiner Mawatha, Colombo 02 TEL: 249-1000 FAX: 244-9184 URL: <a href="http://www.transasihotel.com">www.transasihotel.com</a> E-mail: 該当情報なし 料金: シングル US\$85, ダブル US\$100 (credit card) American Express, Master, VISA
Holiday Inn Colombo (ホリデイ・イン・コロンボ)	30, Sir Mohamed Macan Markar Mawatha, Colombo 03 TEL: 242-2001(-10) FAX: 244-7977 URL: <a href="http://www.holidaycity.com/holiday-inn-colombo/index.htm">http://www.holidaycity.com/holiday-inn-colombo/index.htm</a> E-mail: 該当情報なし 料金: シングル US\$75, ダブル US\$81 (税・サービス料込み) (credit card) American Express, Diners, JCB, Master, VISA
Renuka Hotel (レヌカ・ホテル)	328, Galle Road, Colombo 03 TEL: 257-3598 FAX: 254-7137 URL: E-mail: 料金: シングル US\$42, ダブル US\$45 (サービス料 10%, 付加価値税 15%) (credit card) American Express, JCB, Master, VISA

## 5. 不動産会社

CFT Property Service (CF・プロパティ・サービス)	264, Grandpass Road, Colombo 01 TEL: 0773-401-608
--------------------------------------	------------------------------------------------------

URL: <http://www.cevlonforeigntrades.com/CftProperty/contactUs.html>

E-mail: [propertyservices@cevlonforeigntrades.com](mailto:propertyservices@cevlonforeigntrades.com)

## 6. レストラン

### Raja Bojun (ラジャ・ボジュン)

90, Cevlinco Sevlan Towers, Galle Road, Colombo 03

TEL: 471-6171, 245-2657

ビュッフェスタイルの本格スリランカカレーレストラン。海を眺めながら食事を楽しめる。

### Grand Oriental Hotel (グランド・オリエンタル)

2, York Street, Colombo, 01

TEL: 232-0391~3, 244-8734(~5)

スリランカ料理。

### Palmayrah Restaurant (パルマイラ・レストラン)

328, Galle Road, Colombo 03

TEL: 257-3598, 257-3600(~2)

スリランカカレーはコロombo No.1 と定評。辛さも控えめながらコクがある。

### Il Ponte (イル・ポンテ)

Soprts Complex, Hilton, Colombo, Lotus Road, Colombo 01 (コロombo Hilton内)

TEL: 249-2492, 243-7177

本格イタリア料理店。アルデンテのパスタや美味しいピザが楽しめる。

### Spoons(スプーンズ)

Lotus Road, Colombo 01 (コロombo Hilton内)

TEL: 249-2492, 243-7277

フランス料理店。セットメニューがある。日本人シェフがいる。

### German Restaurant (ジャーマン レストラン)

11, Galle Face Court 02, Colombo 03

TEL: 242-1577, 230-7056

ドイツ料理店。日曜日とボヤデーはランチ無し。

### Chesa Swiss (チェサ・スイス)

3, Deal Place, (Duplication Road) Colombo 03

TEL: 471-2716, 257-3433

チーズフォンデュが美味しいスイス料理店。

### Bistro Latino(ビストロ・ラティノ)

21, Devos Ave., Colombo 04

TEL: 258-0063

メキシコ料理店。木・金・土は9時半以降サルサの日。

### London Grill (ロンドン・グリル)

77, Galle Road, Colombo 03 (シナモンランド内)

TEL: 243-7437

コンチネンタル料理の高級レストラン。

### Havelock Place Bungalow (ハベロックブレース・バンガロ)

6-8, Havelock Place, Colombo 05

TEL: 258-5191

隠れ家的な雰囲気を持つレストラン。サラダ・リゾットなど美味。

### Cricket Club Cafe (クリケット・クラブ・カフェ)

34, Queens Road, Colombo 03

TEL: 250-1384

店内はクリケット一色。パイや肉料理など欧米の料理中心。

### Gallary Cafe (ギャラリー・カフェ)

2, Alfred House Road, Colombo 03

TEL: 258-2162, 255-6564

多国籍の創作料理。ジェフリー・バワ建築のレストラン。

### Macky's (マッキーズ)

3, 19<sup>th</sup> Lane, Colombo 03

TEL: 237-2363, 473-4433

ムスリム系のレストラン。アルコールや豚肉は扱っていないが、メニューは豊富。

### Beach Waiya (ビーチ・ワディア)

02, Station Road, Colombo 06 Wellawatta

TEL: 258-8568, 451-4477

料理の素材はその日取れた新鮮な魚。海老のガーリック焼きがお勧め。

### Dine-Mor (ダイン・モア)

60<sup>a</sup> Dharmapala Mawatha, Colombo 03

TEL: 471-2990

チキンブリヤニ、クラブサンドイッチなど、インド料理メニューも揃うファーストフード店。

Nihon bashi (日本ばし)	11, Galle Face Terrace Colombo 02 TEL: 232-3847 白を基調にしたモダンな店内。炭焼きの焼き鳥、刺身、お好み焼きなど、美味しい日本料理が楽しめる。
Sakura (さくら)	15, Rheinland Place, Colombo 03 TEL: 257-3877 居酒屋のような店内で、値段も手頃。美味しい鍋焼きうどんが食べられる。
Peach Valley Restaurant (ピーチ・バレー)	27, Sir Ernest Desilva Mawatha, Colombo 07 TEL: 267-2888, 267-2988 荘厳な佇まいの中華料理店。大人数を収容できる個室が多く、宴会にお勧め。
Emperor's Wok (エンペラーズ・ウォック)	Lotus Road, Colombo 01 (コロomboヒルトン内) TEL: 249-2492, 243-7177 十・日・ボヤデーは飲茶あり(ランチタイム)。海老の蒸餃子や大根餅、中華粥などがお勧め。
Min-Han Restaurant (ミンハン)	14, Deanstone Place, Colombo 03 TEL: 258-6533 安価で本格中華料理が味わえる。焼餃子、エビチリ、鍋が美味しい。冷凍餃子の持ち帰り可。
Han Gook Gwan (韓国館)	25, Havelock Road, Colombo 05 TEL: 258-7961, 258-1428 韓国焼肉が楽しめる。

## 7. 食料品の入手

### < 市場 >

Colpetty Market (コルピティ・マーケット)	Dharmapala Mawatha, Colombo 03 定休日: 日・ボヤデー・祝祭日 新鮮な野菜や、果物、魚、日本食品、雑貨が入手可能。
Pettah Market (ペタ中央市場)	*2008年11月現在、ペタ地区は出入禁止。

### < スーパーマーケット >

Arpico (アルピコ)	69, Hyde Park Corner, Colombo 02 TEL: 269-9625 営業時間: 09:00-22:00 品揃えが豊富。食材の他に、プラスチック製品、日用雑貨、家具、寝具、衣類なども。
Food City (フードシティ)	21, Staples Street, Colombo 02 TEL: 232-6336, 244-9964 営業時間: 08:00-23:00 醤油、野菜、魚、肉、パン、輸入食材のほか日用品等が揃っている。
Keels Super (キールズ・スーパー)	Crescat Boulevard (シナモン・コロombo内) TEL: 552-7526 営業時間: 09:30-21:00 野菜・魚・肉・パン・輸入食料のほか日用品等が揃っている。醤油などの少量の日本食材あり。
Beema (ビーマ)	3 <sup>rd</sup> Floor, Colpetty Market, Dharmapala Mawatha, Colombo 03 TEL: 533-957 営業時間: 09:00-21:00 輸入品の品揃えはコロomboでも随一。みりんやそばつゆ、だしの素、ラーメン、みそなど日本食もあり。
Guy Supermarkets (ガイ・スーパーマーケット)	115, Lake Drive, Rajaciriva TEL: 288-4756 営業時間: 09:00-21:00 ロイヤルパーク1Fのコンビに、お米、ラーメン、醤油、うどんなど日本食が入手可。

## 8. デパート、ショッピングセンター

ODEL (オデル)	5, Alexandra Place, Colombo 03
------------	--------------------------------

	TEL: 472-2200
	営業時間: (月～日) 10:00～20:00
	URL: <a href="http://www.odel.lk">www.odel.lk</a>
House of Fasion (ハウス・オブ・ファッション)	婦人服、紳士服、子供服、バッグ、玩具、文房具、本まで、ほとんどが揃う。高級デパート。
	28, R.A. de Mel Mawatha. (Duplication Road), Colombo 05
	TEL: 250-4639, 250-4641(-2)
	営業時間: (月～土) 10:00～20:00, (日) 10:00～15:00, 定休日: ボヤデー
	安価で洋服が買える。現地の人々もよく利用し、週末は特に混雑する。
Lady J (レディー・ジェイ)	
	993, Maradana Road, Colombo 08
	TEL: 266-7668
	営業時間: (火～日) 10:00～20:00 定休日: 月
Cresscat Boulevard (クレスキャット・ブルーバード)	
	Gall Road, Colombo 03
	シナモンランドホテル直結。ブランド店が並び、洋服、本、文房具などが購入できる。地下にスーパーあり。
Liberty Plaza (リバーティ・プラザ)	
	R.A. De Mel Mawatha. (Duplication Road)と Dharmapala Mawatha の角, Colombo 03
	TEL: 244-6304
	小さな商店が並び、地下に Keels Super あり。
Majestic City (マジェスティック・シティー)	
	10, Station Road, Colombo 04
	TEL: 250-8673(-4)
	3階建ての建物に、ブランド店・雑貨屋が並び、一階には Carquills Food City あり。

## 9. 家具

Art O Life (アート オ ライフ)	
	2A, Glden Key Centre, R.A. de Mel Mawatha. (Duplication Road), Colombo 04
	TEL: 259-6727, 259-6748
	タイ色のお洒落な家具のお店。家具以外にも、食器、ランプ、フラワーベースもある。
Damro (ダムロ)	
	746, Galle Road, Colombo 04
	TEL: 255-3838
	URL: <a href="http://www.damro.lk">www.damro.lk</a>
	営業時間: 09:00～20:00 定休日: ボヤデー
	安価なソファセットやベッドからオフィス用の机や椅子など、実用品が揃う。

## 10. 工具、素材

Arpico (アルピコ)	
	69, Hyde Park Corner, Colombo 02.
	TEL: 269-9625
	営業時間: 09:00～22:00

## 11. 医療機関

Nawaloka Hospital (ナワロカ病院)	
	23, Sri Suddhodava Mawatha, Colombo 02
	TEL: 254-4444(-7), 243-0390 Fax: 254-1521
	コロナボで一番大きな私立病院。設備も整っており 24 時間救急受付。
Apollo Hospital (アポロ病院)	
	578, Alvitigala Mawatha, Colombo 04
	TEL: 453-0000, Fax: 451-1199, 救急車: 453-1010, 453-1060
	インド系の病院、衛生的な施設。24 時間救急受付。
Asiri Hospital (アーシリ病院)	
	181, Kirula Road, Narahenpita, Colombo 05
	TEL: 250-0608(-11), 236-8929(-30), 250-8766(-7), Fax: 250-8768
	24 時間救急受付。
Asha Central Hospital (アーシャセントラル病院)	
	37, Horton Place Colombo 07
	TEL: 269-6411(-2), 268-4463(-5), 269-8651 Fax: 269-7682
	24 時間救急受付。
Joseph Frazer Hospital (ジョセフ・フレーザー病院)	
	23, Joseph Frazer Road, Colombo 05
	TEL: 258-8466, 258-8386 Fax: 255-6338

---

産婦人科が外国人の間で有名。

Dr. J.R.A Perumal (ペルマル先生)

2<sup>nd</sup> Floor, State Bank of India Building.

TEL: 233-7944

診察時間: (月~金) 08:30-17:00, (土) 午前中

日本人患者の診療経験が豊富なドクター。要予約。

---

## 12. 民間救急車派遣会社

MEDI-CALLS (メディ・コールズ)

25, Lauries Road, Colombo 04

TEL: 2507-507

URL: [www.medicallslk.com](http://www.medicallslk.com)

E-mail: [med\\_call@sri.lanka.net](mailto:med_call@sri.lanka.net)

病院指定可能。24 時間往診サービスも行っており、原則年会費必要。(初回緊急時は対応可)

---

## 13. 薬局

Healthguard Pharmacy (ヘルスガード・ファーマシー)

117, Dharmapala Mawatha, 07

スリランカ各地にある薬局チェーン店。

Cresscat Boulevard (クレスキャット・ブルーバード)

Gall Road, Colombo 03

シナモンランドホテル直結。

---

## 14. 金融機関

Bank Of Ceylon

41, Bristol Street, Colombo 01

URL: <http://www.boc.lk/bochome/index.isp>

TEL: 011-232-9413

Peoples Bank

221, Union Place, Colombo 02

URL: <http://www.peoplesbank.lk/>

TEL: 011-232-7151/2

Hatton National Bank

16, Janadhipathi Mawatha, Colombo 01

URL: <http://www.hnb.net/>

TEL: 011-242-1466

Standard Chartered Bank

356, Galle Road, Colombo 03

URL: <http://www.standardchartered.com/lk/index.html>

TEL: 011-257-6652

Hongkong and Shanghai Banking Corporation

24, Sir Baron Javatilaka Mawatha, Colombo 01

URL: <http://www.hsbc.lk/1/2/home-page>

TEL: 011-447-2200

CitiBank

65c Dharmapala Mawatha, Colombo 07

URL: <http://www.citi.com/citi/global/lka.htm>

TEL: 011-479-4718

---

## 15. レンタカー会社

Hertz (ハーツ)

Galadari Hotel, Colombo 01.

TEL: 471-5550, 243-0707(-08)

Avis Car Rental (エービス・カー・レンタル)

4, Levden Bestian Road, Mackinnons Building, Colombo 01

Tel: 244-8065, 252-4498, 247-5458

---

## 16. 国際宅配サービス

DHL

148, Vauxhall Street, Colombo 2

<http://www.dhl.com.lk/publish/lk/en.high.html>

24 時間受付

---

## 17. コンピューターの販売・修理

## Computer Zone (コンピューター・ゾーン)

121, Level 2, Hunupitiva Lake Road, Colombo 02

TEL: 533-7228

営業時間: (月~金) 09:00~19:00, (土) 09:00~14:00

パソコン・プリンターの修理専門店。

## 18. 教育機関

## Asian International School (アジア国際インターナショナルスクール)(幼稚園あり)

4/97, Thalakotuwa Gardens, Colombo 05

TEL: 251-3181, 251-2182(-3)

URL: www.ais.lk

イギリスの教育システム。全校生徒 1300 人。

## The British School in Colombo (ブリティッシュスクール)(幼稚園あり)

63, Elvitigala Mawatha, Colombo 08

TEL: 532-9329

URL: www.britishschool.lk

イギリスの教育カリキュラムに準じる。GCE の O-レベル、A-レベルあり。高校では IB プログラムも導入。

## Colombo International School (コロンボ国際インターナショナルスクール)(幼稚園あり)

28, Gregory's Road, Colombo 07

TEL: 269-7587

URL: www.cis.lk

イギリスの教育カリキュラムに準じる。GCE の O-レベル、A-レベルあり。全校生徒 1300 人以上。

## Elizabeth Moir Junior School (エリザベスモイヤー・ジュニア・スクール)

100, Park Road, Colombo 05

TEL: 258-5682, 258-9984

URL: www.eureka.lk/moir

イギリスの教育カリキュラムに準じる。GCE の O-レベル、A-レベルあり。全校生徒 170 人。

## Overseas School of Colombo Preschool (オーバーシーズ・スクール・オブ・コロンボ)

Palawatte, Battaramula

TEL: 278-4920(-2)

URL: www.osc.lk

Council of International School から正式に認定。IB プログラムも導入。独自のカリキュラムを持つ。

## 19. 図書館

## National Library (スリランカ国立図書館)

14, Independence Avenue, Colombo 07

TEL: 011-269-8847, 268-5197 FAX: 011-268-5201

Email: nlds@natlib.lk

新聞記事や政府関連の所蔵品が読める。有料の登録が必要。

## 20. 新聞の購読

## &lt; 日本の新聞 &gt;

## OCS 海外新聞普及(株)輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL: 03-5476-8131 FAX: 03-3453-8091

URL: http://www.ocs.co.jp/

E-mail: subs@ocs.co.jp

## Newspaper Direct (UK)

2, The Larches, Amersham, Buckinghamshire, HP6 6YH, United Kingdom

TEL: +800-6364-6364 (Toll-free Global)

## &lt; 外国の新聞 &gt;

## Newspaper Direct (UK)

2, The Larches, Amersham, Buckinghamshire, HP6 6YH, United Kingdom

TEL: +800-6364-6364 (Toll-free Global)

## 21. ケーブル TV 会社

## Star Television Lanka Ltd

51/1 Fife Road, Colombo 5

TEL: 259-4528, 259-6800

## CBN Sat

83, George R de Silva Mawatha, Colombo 13.

## 22. スポーツ施設

### Austasia (オーステシア)

Pannipitiya Road, Thalawathugoda.

TEL: 556-6566

プール、室内クリケット場、フィットネスセンター、テニス、スカッシュ、バドミントンコートあり。

### Sports and Fitness Centre-Colombo Hilton (ヒルトンコロombo スポーツ・アンド・フィットネスセンター)

2, Sri Chittampalam A, Gardiner Mawatha, Colombo 01

TEL: 254-4644(33), 234-7177

プール、フィットネスセンター、テニス、スカッシュコート、ジョギングコース、エアロビクスレッスン、ミニ公園等。

### Strikes Bowling Centre (ストライク・ボーリング・センター)

338, T.B. Javah Mawatha, Colombo 10.

TEL: 555-6802

営業時間: (月~木) 14:00~23:00、(金・土・日) 10:00~24:00

専用シューズのレンタル可。

### Royal Colombo Golf Club (ロイヤルコロombo ゴルフクラブ)

223, Model Farm Road, Colombo 08

TEL: 269-5431, 269-1401, FAX: 268-7592

URL: [www.royalcolombogolf.lk](http://www.royalcolombogolf.lk)

E-mail: [colombo.golf@lanka.com.lk](mailto:colombo.golf@lanka.com.lk)

営業時間: 06:00~20:00

コロombo市内のゴルフ場。

## 23. 語学学校

### British Council (ブリティッシュ・カウンシル)

49, Alfred House Gardens, Colombo 03

TEL: 452-1521 FAX: 258-7079

営業時間: (月~金) 08:30~19:30 (土) 08:00~19:00 (日) 08:00~16:30

英語とシンハラ語のレッスンが受講可。受講開始時期は1月・4月・7月・10月。

## 24. 旅行代理店

### Classic Travel (クラシック・トラベル)

379/4 Galle Road, Colombo 03

TEL: 257-7527(-30), 452-4100

URL: [www.classictravelbiz.com](http://www.classictravelbiz.com)

営業時間: 08:00~19:00

日本語が話せるスタッフ在中。航空券の発券からツアーの手配、ビザの発行まで幅広く手がける。

### Silver Line Tours (PVT) Ltd. (シルバークライン・ツアーズ)

192, Vauxhall Street, Colombo 02

TEL: 471-5193, 239-0992 FAX: 462-1901

URL: [silverlinetours.com.lk](http://silverlinetours.com.lk)

日本語が話せるスタッフ在中。国内外の旅行、格安航空券の手配も可能。

## 25. 輸送会社

### NYK Logistics & Kusahara Lanka (NYK ロジスティックス・アンド・クスハラ・ランカ)

50, Foster Lane, Colombo 10

TEL: 473-2900

営業時間: (月~金) 09:00~17:00

定休日: 土・日・ポヤデー

ヤマト運輸のスリランカ代理店。物流全般において長年の実績を誇る。

## 26. 保険会社

### Cevlinco Insurance

91, 4<sup>th</sup> Floor, Ashalin Court, Galle Road, Colombo 04.

TEL: 259-4187

URL: <http://www.cevlinco-insurance.com/index1.php>